

参考資料

白河関の森公園基本構想策定委員 名簿

No	役職等	委員名	備考
1	宮城大学 理事・副学長・教授	風見 正三	委員長
2	旗宿自治会 会長	伊藤 一伸	
3	旗宿自治会 副会長	大森 泰之	
4	旗宿自治会 会計	穂積 広	
5	白河関の森公園 園長	斎藤 仁	
6	古関行政センター 所長	小坂井孝博	
7	白河観光物産協会 主査	伊東 和雄	
8	元教育委員	小松 裕子	
9	歴史的風致維持向上計画委員	渡辺 紀子	
10	未来の準備室 事務局員	那須 彩乃	
11	元ICT支援員	畠山 里奈	

2021年

11月 8日 第1回 白河関の森公園基本構想策定委員会

12月13日 第2回 白河関の森公園基本構想策定委員会

2022年

1月24日 第3回 白河関の森公園基本構想策定委員会

2月21日 第4回 白河関の森公園基本構想策定委員会

3月25日 第5回 白河関の森公園基本構想策定委員会

第1回 策定委員会議事録

2021 年 11 月 8 日

作成者	一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所	氏名	栗原 樹
-----	----------------------	----	------

1. 概要

日 時	2021年 11月8日 15:00-16:30
場 所	旗宿コミュニティセンター

2. 議題

議 題
(1) 委嘱状交付式
(2) 白河関の森公園基本構想策定委員会議
①開 会
②委員・事務局職員の紹介
③委員長の選出
(3) 議 事
(4) 委員長の選出
(5) 今後の進め方
(6) その他
(7) 閉会

議事内容

〈白河関の森公園に係る基本構想及び基本計画の位置づけ〉

白河関の森公園は、地域振興の目的として平成3年に整備されている。
 各施設は老朽化が目立ち、将来を見据えた修繕を検討する時期になっている。
 平成26年に大型遊具の修繕を行い、新たな魅力が創設され、利用者数は回復傾向にあるものの、
 公園内に点在する各施設における使用量の増加が見込めない状況にある。
 公園内、旗宿全体の活性化に繋がる策を検討するための基礎調査・基本構想を策定する。

〈基礎調査・アンケートに対する質疑〉

白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

金曜日、土曜日でアンケートをとっているが、
 金曜日は、幼稚園の遠足で親子連れでの来園が多く、
 この二日間の集計だと、アンケートに偏りが生じている可能性がある。

古閑行政センター所長 小坂井孝博 様

鶴子山も同じような公園があり、

県南地区全体を見ると、大型遊具があるのは、鶴子山と関の森公園しかない。

鶴子山公園の場合は、289号線からすぐの所にあり、交通の便も非常に良いので、

保育園や幼稚園で定期的に、施設そのもので利用している、団体で来て利用している回数が非常に多い。

そのような影響で、一回来たお子さんが、もう一度行きたいということで、

利用頻度が高くなっているのではないかと。

関の森公園も良い面があるが、鶴子山公園は交通の便が良いところにあることで、

利用客が多いと考えられる。

宮城大学 理事・副学長 風見正三様

関の森公園の場合には、自然環境に恵まれているので、それをどのように使えるのかが鍵となる。

遊具だけではなく、様々なソフトを組み入れれば沢山の方が来ると思う。

里山の暮らしぶりがソフトになっていると良い。

里山の美しさを体験できる公園が、意外に日本には無い。

歴史的風致維持向上計画委員 渡辺紀子様

昔の関の森公園の新聞記事をみて、この頃、私は白河にいなかったもので、

全体的にこのような感じになっていたのかと思いました。

これから構想が始まるにあたり、公園の変遷を知りたいと思う。

公園を作り、途中で方針を変えたのか、それとも時代の流れの中で、

子供も遊べる場所を作ろう、なのか、どのような流れがあり、今にいたっているのかを知りたい。

友人とも、白河の関には行くが、公園側の方になってしまうので、

地元の人たちは、どのような人たちに来て欲しいと思っているのかを知りたい。

白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

平成3年のオープンした関の森公園では、

ビジュアルハウスなど、もともとは有料施設だった。

白河の関を紹介するための施設であり、堅穴住居なども施設中にはあった。

しかし、管理等が非常に難しく、コストもかかることから、堅穴住居は取り壊されることになった。

その後はイベントの開催や、遊具をリニューアルすることで、来園数が増加することになった。

旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

関の森公園がオープンする前に、市外へ出て、

何十年後に戻って来た。堅穴住居や、茅葺の施設は、維持管理にコストがかかる。

ビジュアルハウスについては、中で紹介するビデオも年が経つと代わり映えがしないと感じる。

箱だけはつくるが、その活用方法についても、どのように有効に使うのかを検討したい。

旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

まほろんという県の施設があるので、

そういうところとタイアップしたり、教育の中に取り入れるのも良いと思う。

第2回 策定委員会議事録

2021 年 12 月 13 日

作成者	一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所	氏名	栗原 樹
-----	----------------------	----	------

1. 概要

日時	2021年 12月13日 14:30-16:00
場所	旗宿コミュニティセンター

2. 議題

議 題	
(1) 開会	
(2) 委員長挨拶	
(3) 議事録挨拶	
(4) 議 事	
① 現況整理・社会条件の整理	
・エコロジカルアスペクト（自然環境等）	
② アンケート調査	
・関の森公園 利用者及び住民アンケート 実施概要&実施結果	
③ 意見交換	
・ディスカッションペーパー	
④ その他（参考情報）	
・富谷宿観光交流ステーションについて	
⑤ 今後の進め方	
・工程表	
・今後の策定委員会 議題（案）	
(5) その他	
(6) 閉会	

議事内容

<ディスカッション>

1. 元教育委員 小松裕子 様

今日の午前中、公園に行き園長さんにご案内いただきました。

子供たちを連れて遊びに行くのが主な公園の利用の仕方だった。

子供も高校生なので、足を運ぶ機会がなかったが、

今年の2月にふと思立って白河の関を訪れたことがあったが、

地震の後だったので、状態が気になって白河の関に足を運んだ。

石堂？などが倒れていて少し悲しいなと思いながら見たが、

白河の関のところで、スタンプラリーがあったが、だいが前にも貼ってあったので

白河の関、名所といわれながらも手付かずな状態があったりすると、気になった。

白河の関は外人にとっては陸奥の入り口として憧れの場所という印象だったので、

白河の関が表に感じられるような場所になったらいいと思っている。

それから、白河市外からも関の森公園は色々な人たちが訪れていて、

私の職場でも20代くらいママがいて、最近行ったという話も聞いて、とても良かったという話だったが、

白河の実業高校から向かってくるときに、関の森公園が先にあるという表記がどこにもなくて、

この緑だらけの道を皆さん不安にならないのかなと、せっかく不思議な公園があるのに、

それが向かってくる人たちに触れるものがないので、道案内があるといいかなと思っている。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

歴史、名所のメンテナンスとサイン計画が必要になる。

2. 歴史的風致維持向上計画委員 渡辺紀子 様

私も前に園長さんに公園を案内してもらって色々なことを感じたが、

まず第一印象が、こんなに整備されて、お花とかこんなところがあるとは全く知らなかったのでまず驚いた。

何人でやってるか？どんな感じなのか？色々聞いて見たが、園長さんと数人の方で頑張っているのを聞いて、

よく頑張ってもらってるなと思いき、もっとPRして、告知してもらったら私たちが来たかったですという話をして、

お花の綺麗などきの写真をみて、まず自分がそれを知らなかったことにびっくりしました。

さっきアンケートをきいて、なら良かった！と思ったのが、地域の人たちがボランティアでお花の整備をしたりするのか聞いたら、

イベントの時は集まってくれるが、そのほかはあまりという話を聞いていて、参加したい人がこんなにもいらっしやるなら、

ぜひ、地域の方達と一緒に活動できたら、もっと地域に根付いた公園という印象になるかなと思う。

アンケートから地域の人たちが公園に興味をもっていて、参加したいという思いをもっているのが見えて

それは良かったなと思った。

私は人を案内してくるときに、白河の関という、そのことで知り合いを連れてくるが、

卯の花が特徴で、やはりここにきて、歌にもでている卯の花がみたいなと思い、

歌にでている卯の花はどんな花なのか、感じたいのでそれはとてもいいなと思った。

当時を感じられるものがあるといいと思っていたので、良いと思った。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

地域の連携とPRですね

PRをもっとすることで、より来たい人が増えてくるというご意見だと思います

3. ICT支援員 畠山里奈 様

まず調査いただいた環境の面からで、全国的にみても素晴らしい植生であったり、良い里山であるという観点で、

キャンプ場の話がでたと思うが、そういう施設が近くにあれば、農業系の学生をそこで宿泊して呼び込んで、

現地に若い人がはいりながら活性化をはかれたいと思うのではないかと キャンプ場とか宿泊地は外向けにありかなと思う。

その場所だからできる、体験やイベントができたら良いと思う。

私は文化の日に、自然少年の家について子供たちと一緒に染物体験をして来たが、

野外体験で使われるような場所で、落ち葉とかそこに落ちているものをみんなでひろってきて

そこから染料をとってみんなで模様をつけたりとか、染物をするという体験だったが、

ここだからできる色味であったり、そのような体験もできるんじゃないかなと思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

若い人を取り込むコンテンツが必要ですね。

グランピングなどキャンプの新しいかたちもおすすめです。

そういうものを含めて新しい機能ははいてくると変わっていく可能性が高いですね。

4. 白河観光物産協会 伊東和雄 様

BBQやキャンプがブームになっているところで

白河の弱いところとしては日帰りで泊を伴う観光、旅行の施設に関の森公園は対応できていないのではというところで

キャンプをするとなるとBBQの施設も必要になってくるところで、もぎたての野菜など提供できるのいいと思う。

やはり参加した人は自分が採った野菜や実際に体験したものを食べると喜ばれるのかなと思う。

そのまま食事をとって泊まっていたらいいような環境づくりをすると魅力的になるのかなと思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

夕方になると出なきやいけないムードがありますよね。

滞在できて食事もできて、夜キャンプもできたら最高ですよね。

私が前指導をしたところで、地産地消の農家と提携して、ピザの具を自分で調達して、

石焼ピザをつくるのが地域振興として成功した 地産地消で食べられるのはそれだけで裕福ですよね。

宮城ですと洋梨をそのまま食べられるところがあるが、それも本当に少しあるだけでブランディングがされていないので、

先ほどおっしゃられたように、キャンプ、それから夜に星をみながらいられるところがあると良いですよね。

5. 古閑行政センター 小坂井孝博 様

今現在でも色々な魅力がある公園であると思うが、

PRが行き届いていないところがあるのかなと思うところで、

もちろん公園自体の魅力をあげるのも必要なことだと思うが

今あるものをいかにみなさんに周知してわかってもらって足を運んでもらうのが最初の段階かなと思う。

アンケートの結果でキャンプ場や宿泊施設の要望が多いとあったが、

公園そのものを楽しむのはもちろんだが、関の森公園から林道を通っていくと、犬神ダムがあり、

これは県南地区では大規模な灌漑用のダムであり、ちょうど私が小学生のころに完成したダムであるが、

そこへいく林道があり、途中から天狗山の登山道につながる。

最近では登山やハイキングのブームも結構あり、天狗山や、関山、は市外からきている人もかなりいる。

関の森公園をベースにもう少し広い目で見て、天狗山は、天気によれば山頂から郡山まで見える。

もちろん福島空港なんかも見えますので、健康づくりと組み合わせて、キャンプをして今日は登山・ハイキングに行く

などの利用をしてもらえれば、利用者の層も増えるのかなと思う。

白河神社の宮司さんが、毎年、夏の甲子園の東北の代表チームに、白河の関の通行手形を送っている。

ぜひ、白河の関を越えてほしいということ

そういうのも組み合わせたら集客になるのかなと思っている。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

甲子園は特に日本国民の行事みたいなところもあるのでそれはいいPR材料になりますね。

健康登山、これからとても大事になると思う。

グランピングもエコロジーとしてゴミをださなかったり、自然環境に配慮したグランピングがテーマになっている

そこに徹底していたら、そういうファンがくるので、それがブランディングなんですけど、

森を大切にしたり、単にグランピングだけではなく、森の植林も含めて、森づくりと一緒にやるような、

人間が自然にかえる場をつくることや、白河全体の公園の役割についても考えながら進めていきましょう。

6. 白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

できた当時のものがなくなったり、実際には白河の関を説明する目的の公園だったが、

そこらへんの説明が一切、建物もないから説明もできないということで、

白河の関だけみて帰る人もいれば、公園だけみて帰る人もいる。

白河の関と公園が行き来でき、相互で効果があるような整備が必要になると思う。

関の森公園の建物も三十年以上たち、ほとんど老朽化しており、

修理しながら使っているが、公園の中の植物は古くなってもどんとどんと味ができて

馴れていくものではないから、そういうもので人が来たりするのではないかなと思う。

桜の木もたいぶ育っていきっている。

春に咲く植物はせいぜい1ヶ月しか人を呼べない、関の森公園は3月の末からカタクリが咲き始め、

そのあとに梅や桃、桜、そのあとに卯の花、6月の中旬から8月は紫陽花が咲いて、

今のところは3月から8月くらいまでは何かしら花が咲いているようになっている。

植物が綺麗に咲くと写真を撮りに来る人がいる、自分の作品になるから大切にしている。

写真をとって、ここでこういう写真をとったと流してくれる人がいる。

今は花を見に来て売ってはいない、本当は、紫陽花の綺麗なのをみたら買いたいという人もいる。

そういう販売ができるような体制をいま整えている、買って家で楽しめるようになるのは魅力かなと思う。

イベントがコロナで中止になっているが、カタクリ祭り、紫陽花祭り、収穫祭、新そば祭りなど、

地元の方々を中心になってお祭りをしていて、これをやればまた人が増えるのではないかなと思う。

高城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

竪穴式住居をはじめ、今ないものを施設のメンテナンスも含めて、どこをリバイバルするか、

予算の問題もあるので上にあげていく必要はあるが、少し投資も必要かと思います。

白河の関は磨くとすごいものになる、あれだけ美しい里山があって、地元の人もいて、

一緒にできるような環境はなかなかない。

私も、白河の関があることがばつとわからなかった。

そこのつながりやアプローチもしっかりデザインしたり、市としても単に公園としてではなく、

観光やまちづくりの一環としてどこまで位置付けられるのか、ということになると思うので、

地域にとって重要な財産であり、シティセールスの重要な場所になる。

まずほとんどの人が、日本全国、白河の関を知っている。

それをどういう風に見せるのが大事。

花や植物、木は、自然に生きる人たちにとってそれを売れるのはとても良いと思う。

四季折々の物語をちゃんと描いて、それに対して地域の人たちが参加する仕組みとコンテンツを作る、カレンダーを作る。

イギリスは週末になると公園に隣接したガーデンセンターがあって、ほとんど1日そこで過ごす。

そこで花をみたり植木鉢を買ったり、そこでハーブティーを飲んだり、1日過ごして、とても豊かなんですね。

わざわざ遊園地にいなくても、ガーデンセンターで1日楽しめる。

物を買うというのは大事ですね、地元の食材や、木を買えたりすると良いですね。

7. 旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

私は旗宿に生まれて、一番良い土地に生まれたなと今でも思っています。

高校3年生の時、先生に希望して牧場研修に友達と行ってきました。

広い牧場で25日間研修をして、終わって家に帰ったときに、この自然と美しさ、

白河関所のあるこの山、他所から見ると、山だと言われるが、その山が私は一番好きだった。

関所で昔は青年会の人数が多い時は、8月にまわしを締めて東と西に分かれて相撲大会を青年会が主催で行った。

それが人口の減少により地元の青年会の人数がだんだんと少なくなってきたので、そういう行事もできなくなった。

その頃に関の森公園ができた。

できた当初、私も、母も、家内も関の森公園の仕事には従事しており、協力してきた。

母が当時の所長に頼まれて、芝生の広場のところに小川が流れているが、そこをせき止めて、鱒つかみ大会をして

片方で焼いているので、つかめたやつを焼いてあるやつを交換したりと、そのようなイベントをやっていて、私は本当に楽しかったです。

子供達もはしゃいで、ビショビショになりながらも、一生懸命捕まえて焼いたやつを食べて有意義な姿をずっと見てきた。

そのような行事もなくなってしまい、また、近年はコロナ禍でイベントが数々中止になってしまった。

その中でも地元では、蕎麦組合、味噌組合の活動をやっている。

白河住民の中で、地元で採れた蕎麦を手打ちで配布したり、地元で育てた大豆、自家生産したお米、

それを原料に自ら麹を作り味噌を作る、今の所16名くらいが組合なのだが、だいたい1人60kgくらいあるので、それを友達に配ったりしている。

関の森公園の利用をしているが、最初に小松さんが言われたように、実業高校を過ぎると案内板がないのです。

昔友達に、実業高校から入ってくると一本道だと教えたのですが、夜で暗かったので途中から友達が帰ってしまいました。

それで友人から電話がきて「あの先に家があるの？」とききました、がっかりしました。

案内板が一切ないというのは私も痛感しました、旗宿、白河関の森公園、人がどんどん来てコミュニケーションがとれる場所に

県外の方もきていただいで、有意義な場所になるように努力を惜しみなく続けていきたい。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

とても良い話で聞いておりました。

特に、麹、味噌、米、これが全部地元で手に入るのですね、それは素晴らしいですね。

私は関東の生まれですが、大農家だったので、そういうものを買ったことがありませんでした。

祖父母からの代々の畑があり、そこで全部、味噌醤油など、家にありました。

買いに行くのが豊かだと思っていたのですが、今となっては、あのような生活だから頑丈な体ができたと考えています。

自分で全部作って見ると、それが生きる力だということがわかります。それを子供達に伝えたいですね。

そういう意味では、そのように作っている方がおられるのであれば、もっとどのように見せるのか、

見せる場があれば、そこで地元の方も活躍ができますし。

また、いずれみなさんとイギリスにもいきたいと考えているのですが、

イギリスにいくと、ナショナルトラストという環境保護団体があります。

正式にいうと、歴史環境と自然環境の保全する団体であり、もともと、ピーターラビットという絵本がありますよね、

作者のビアトリクス・ポターが自分の資材を売って、寄付して、牧場を作ったのですが、そこが起点になって、イギリス全土に広がりました

日本にもありますが、そこにいくと地域の重鎮の人が格好良いジャケットをきて、ナショナルトラストのワッペンをつけて

関の森公園も、良いマークを作りましょう、そのマークが夜の木の中に照らされていくと安心すると思います。

たしかに突然真っ暗だと帰らなくなりますよね、サイン計画も重要で、地域の村の人たちが地域のことを一番知っておりますので、

先ほどの語り部のような人がたくさんいて、グリーンジャケットを着ている人がたくさんいる、それが生きがいなんですね。

実際に、地域の人に自慢してもらう仕事を作りたいと私は考えております。

伝承者が必要なので、ぜひ、旗宿のみなさんに格好良いジャケットを着ていただきたいですね。

地元で手作りのものが食べられるのはコンテンツとして素晴らしいことですし、文化を伝承することそのものですので、

いずれこのような意見をまとめて提案させていただきます。

8. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

委員の皆様は旗宿地区の現状を知っていただいて、それから関の森公園の現状を知っていただきながら、

新たな取り組みを協議いただきたいというふうに思っておりました。

言葉だけで言い表せない部分があったので、

資料にした。旗宿地域はご存知の通り中山間地の農業地帯で、

ここは山岳地帯で、ほとんど大規模な農家はなく、兼業農家がほとんどで、米をつくっている。

野菜は自家消費、この地域では野菜果物を販売して生活している人はまずいない。

おコメが農業の主力になっております。

やはり高齢化がすすんで、水田を維持していくことも大変。

なんとか地域の水田を守っていく、農業者、土地を農家に貸している方、

そういう方を含めて、今、組織をつくっている、これは農林水産省の制度を利用して、実際に補助金をいただいて運営している。

水田の草刈りとか、農業者、農業やってないサラリーマンも含め一緒になって地域を盛り上げる活動をしている。

農村レストランを最近たちあげて、地元の農産物の販売を徐々に取り組んでいる、まだまだ発展途上。

高齢者の買い物、送迎のアシストを、制度を利用して実施していきたい。

こういう地域の中で、白河間跡は、歴史あるところなので、

伝統行事の継承ということで、地域の平安や、五穀豊穰を祈る祭事、年に12回やっている。

旗宿地域が大火にあったことがあるが、そういう時期を見計らって火事がおこらないようにご祈祷、これも年12回やっている。

関の森、鎮守の森の管理、枯れ枝払い、施設の維持管理など、こういうものを地域住民が一緒になって長い間やってきている。

伝統行事も高齢化が進み、行事もできなくなってきている、伝統にのっとった相撲大会とかやってたけどできなくなってきている。

今、皆様に検討してもらってるのが関の森公園、

その利用については、アンケートをみると行事・イベントの参加がクローズアップされているが、コロナ禍でここ二年そういう行事できてなくて、

そういう行事を地域住民が主体になった 旗宿、関の森公園 組合みたいなのが主体となって実施していく。

3つの組織が、一体となって地域を盛り上げているということであるが、

今後、それらを盛り上げていくのに、私たちの地域の特徴、農業というものを、

取り入れていく、先程からお話があったが、自然の体験、農産物を使った学習、

そういうものができれば、いいんじゃないかと思っている。

箱物はいずれ老朽化して壊れたり維持管理が大変なので、

箱物にかけるんじやなくて、植物、樹木、地球上で一番長生きしますし、そういうものをメインにして、

そういう方向で進めていけたらと考えている。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

立体的な集落、地元の旗宿と関と公園がどのように開わりあってきたのかということ、
ここで一回まとめていただいてありがたいと思います。

安全祈願祭のような、お祭りというものが歴史や文化を伝える重要なところで、これが担い手がなくて困っているところですね
農業については6次化を進めて、そこで実際にお米を食べるところができたり、作る場所から食べて、付加価値をつくるまで
いかないと、農業はどうしても維持できない、白河関の森のレストランをどのように高めて行くかだと思う。

私のつくった法人で、ガイア米という事業をやっているが、単に白米だけではなく玄米の美味しさも交えたそういうものを事業としている
なぜ、それを始めたのかというと、日本はお米を食べなくなってきている、お米を食べないと里山を守れないわけなので、

お米は白米だけではなく様々な楽しみ方があるし、味噌・醤油・麹みんなそうですが、一体のものなんで、
里山を守るために農業を守ることが大事だと私は思っております、昔は農業をやってみるとつらくて大変だったが、
今思うと、畦道でおにぎりを食べたりしたことは本当に良い思い出となっている。

若い人たちが楽しく農業をできるような、そのような仕組みを作る、
つらいものだということではなく、新しい地域とのつながりを考える。

また、テーマは里山公園ですね。

里山は英語でもSATOYAMAなんですよね、里山というのは日本から生まれた英語になりました。

里山を残していくこと、先ほどおっしゃっていたカタクリの原生林のある場所は人がいけないことが多い。

今日エコブラで話したことと同じで、里山は自然の境界線なのです。

自然を知る体験型の公園を目指して行く。

公園を作るとかえって自然破壊になる場合があるが、里山公園のような現地の地形を活かした公園はもっとあるべきだと考えている
森の学校でも山を崩さずに学校を作ること考えた。

100年前の地形が残ることはとても大きいことである。

9. 白河市 企画政策課 吉田義久 様

子供が小さい時は利用者として旗宿にきていた。

地元に残れば水の管理や草刈りをさせられていた。

関の森という場所が、集客という意味では、地元の人々をどのように活躍させるのか、

来る人にとってはその場所の資源をどのように使うのが重要かと思えます。

持続させて行くシステムをどのように作って行くのが大事になるかと思いました。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ライフサイクルコストといいますが、例えば、地元の間伐材をつかって何を作れるのか、

今の施設は本当に良いものだと思いますし、それをどのように改修するかだと思います。

そういう意味では木造が手入れがしやすくいいので、どんどん木質化していくのも一つの手かと思えます。

町内を素晴らしい場所にできるように協力して参りましょう。

10. 白河市 農林整備課 飯田清 様

委員の方々の思いが聞いて非常に良かった。

市の職員でいるとこういう機会がないので今日きて良かった。

個人的には、旗宿に思い入れがあり台風災害のときに農地復旧とか携わったので、

関の森公園の遊具とかも工事担当だったりした、公園の古民家、昔の方法をつかいないがらの修繕とかしたりしたので、

今の施設を木質化しつつ、利用しながら宿泊地やキャンプ施設ができたら良いかと思う。

水辺があると人が集まるかと思えますので、そういうものを大切にしながら里山公園ができたら良いと思います。

11. 白河市 文化財課 新国真理恵 様

関の森の管理していて、現状としては、関跡内で大木の古木が倒れている。

対応したりしていて、それが度々おきてる、園路が傷つき、歩きづらくなる。

ひとつの魅力であるが、ひとつの課題にもなっている。

文化財課としては、国の指定の宝なので、個人的なところ、

蜚虫というのがあったので、最終的には蜚虫を見学してもらったりしてもらえるといいのかなと思った。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

市の側からすると個人の意見が大事なので、それぞれの役割と個人的な意見を合体することが重要。

それぞれの役割で、自分個人はどんな働きができるのか、それで社会は変わるので、

それぞれのところで力を出し合っていきましょう。

第3回 策定委員会議事録

2022 年 1 月 31 日

作成者	一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所	氏名	栗原 樹
-----	----------------------	----	------

1. 概要

日時	2022年 1月24日 13:30-15:30
場所	鎌倉コミュニティセンター

2. 議題

議 題	
(1) 開会	
(2) 委員長挨拶	
(3) 議事録挨拶	
(4) 議 事	
① 現況整理・社会条件の整理	・ エコロジカルアспект (自然環境等)
② アンケート調査	・ 関の森公園 利用者及び住民アンケート 実施概要&実施結果
③ 意見交換	・ ディスカッションペーパー
④ その他 (参考情報)	・ 富谷観光交流ステーションについて
⑤ 今後の進め方	・ 工程表 ・ 今後の策定委員会 議題 (案)
(5) その他	
(6) 閉会	

議事内容

<ディスカッション>

1. 元教育委員 小松裕子 様

観光などで場所を訪れた際に、美味しいものを食べたときに、流行と直結する
 農家レストランという話題もあったが、今は地方でも小さなお店が週に何日間かオープンしていて、
 予約を取るのが難しいお店が白河市内でもいくつかある。
 美味しいものを提供できるお店が中にあると良いと思った。
 今から20年以上前に馬糞のお糞頭?をいただいたことがあり、お店まで買いに行ったことがある。
 そのお店は随分前に無くなってしまったが、田舎の美味しい素朴なものがあつたら良いと思う。
 公園に対してどんなイメージがあり、どんなところが好きか、何人かに聞いて見たところ、
 ある大学生は、ドイツにある公園で、BBQができてとても楽しかったという声をいただいた。
 若い子にはBBQができることなど、そこがポイントになるのだと思った。
 お孫さんと公園に行くという60歳くらいの女性の方にきいたところ、
 遊具だけではなく、自然の中で遊んでいる、ということで必ずしも遊具で遊んでいるわけではないとおっしゃっていた。
 子供も楽しめてご年配の方も気持ちよく過ごせる場所、南湖公園のような、自然の中で里山をイメージした公園ができたら良いと思う。
 そして、今の時代SDGsとの関わりもあるが、障害がある方達にもバリアフリーで、いかに気持ちよく足を運んでいただけるのか、
 ということも考えたいと思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ありがとうございます。美味しいものの発見もそうですが、新しいものも作っていかうと考えております。
 私も、自然と融合した良いレストランがあるといいなと考えています。特にフレンチがあるといいなと思い市長にもお話ししましたが、
 フレンチは実は地産地消なのです。野菜を中心に、地元産の食材で作るものなのです。箱根にオーベルジュというところがありますが、
 フレンチだとワインも嗜みますので、車で来てワインを飲まずに帰ってしまうのは勿体無いので、温泉があつて泊まりながら食事ができる、
 六本木で伝説なシェフだった方が、箱根の郊外に宿泊型のフレンチレストランを創った。それが今のフレンチを変えたと言われている。
 自然に囲まれて一体となったフレンチレストランも良いなと考えています。美味しいものも必要だと考えております。
 美味しいものがその地に花を添えますし、風景は素晴らしいので、遊んだ後にお風呂に入れたり滞在できたら、もっとよくなると考えています。
 バリアフリーの点についても、足元が悪くなくても、それでも楽しめる場所作りが大切です。

2. 歴史的風致維持向上計画委員 渡辺紀子 様

いくつかの本をみて、参考にといい資料を用意してきました。

白河の関に一番来たがる方は、やはり歌を詠む方なのではないかと思いました。

現代の歌人の方達が訪ねてどんなことを詠んで行ったか、その代表的なものが掲載されている資料になっています。

代表的なものだけなので、まだまだ沢山あると思いますが、歌人が何に琴線が触れて詠んだのかという、それが参考になると考えた。

例えば桑でしたり、杉もそうですが、そのような形がふと、感じるような竹まいは残せたらいいなと思います。

西郷から移築した民家のところが毎日火を起しているという話を聞いて、せっかく火を起しているのだから、

そこに歩いてたどり着けたらいいなと思い、歌を詠む人が道すがら草花を見ながら、そこまで歩いて行く、そのようなイメージがあります。

現代の歌を詠む人たちがどのようなものに魅力を感じているのか、良いヒントになるのではないかと思います。

また、白河市史の民俗編を見て、旗宿が載っているところを拾い上げてみました。お相撲について書いてあり、現在もやっているものがあり、現代でも可能なものが、読んでいて見つけることができました。これを皆さんに見ていただき、その中で可能なものがあつたら、見ていただきたい。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

先ほど冒頭にありました、歴史を紐解いていったときに、歌人がどのようなことを考えたのか、ということはとても良いテーマだと思います。

現代の歌人の方達にも、改めて詠んでいただくようなイベントや企画があつても良いですね。

今、和歌がブームになっていたりするので、和歌を親しむことができる場ができるとう良いですね。

歌人の流れも来年以降のプログラムに導入したいですね。

3. 白河市 文化財課 新国真理恵 様

公園と聞くと、子供たちが遊んでいるイメージがあり、私も経つ子を連れてよく行くが、

大人から子供まで楽しめる公園整備が必要だと考える。

また、子供が安全に過ごせる公園整備が必要だと思う。

農家レストランというお話がでたが、昨年県外に行った時に、そこは遺跡の中でも古墳が有名な場所だったが、

そこで古墳カレーというものがあつた、名物として出していた。白河関跡も国指定の遺跡なので、そういったところに目をつけて、

白河のものを使って、名物が作れたら良いと思う。また、石碑が白河の関跡には残っているので、石碑をかたどった最中など、

そういったかたちで、白河の関全体の活性化ができれば良いのではないかなと思う。

農家レストランでしたら、名物を提供して、白河の関の歴史も学びながら、楽しめるような公園になったら良いと思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

アイデアを沢山出して、磨き上げて行くことが重要ですね。また、子供という視点がとても重要であり、

古墳や竪穴式住居などの歴史的なものをアイテムとしてキャラクターなど作る必要がありますね。

歴史的なものをどのように商品化するか、ということも加えて考えていきましょう。

4. 白河市 農林整備課 飯田清 様

公園は三世代が使われるということで、今は普通遊具しかないの、健康遊具を作ることや、

古民家までのルートを作ること、またこんやくの花があるところの回遊ルートを作ると良いかなと思う。

また、食べ物のお話もあつたので、キッチンカーなどを呼んでみるのも良いかなと思う。

今、使っていない建物もあるので、それを活用できるようにし、例えば甲子園球児たちに宿泊してもらおうなど、

白河の関のPRになるのかなと考えた。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ウォーキングのルートを作ることが大事ですね。関の森公園から行くと「こつちなのかな？」という感じはありますが、

はっきりとわかると良いですね。また、まち全体でも、まち歩きのマップがあると良いですね。

どのようにウォーキングのルートを作るか、周りの歩道整備も含めて、自転車の人たちも道が整備されていると来るので、

ウォーキングルート・サイクリングルートの構築をする必要もあつたかな。

5. ICT支援員 嶋山里奈 様

小松さんのお話を聞いた時に、旗宿で育ち、自然の中で遊んで来られた大人の人たちが、子供達に遊び方を教える時間があれば、交流にもなりますし、興味があるなと思いました。また、自然を活かしたものの一つとして、ツリーハウスがあると面白いのではないかと思います。ツリーハウスは生きた樹木を建築の基礎として活用するものであるが、プラスチックなどではないので、もっと自然に馴染みやすいのではないかと考えた。また、その物珍しさに遊びに来る人が増えるのではないかと考える。昔のままの公園を大事にするのであれば、そこは考える必要があるかなと思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

新しさと懐かしさの両方があっても良いと思います。

森の学校の時も、ツリーハウスを使ったが、子供たちがとても喜んでいた。

危険なところも含めて、子供達にとっては大変学びになる。ツリーハウスのような秘密基地は男の子は特に好きなんですよ。

私もツリーハウスのアーティストを知っているので、ぜひ、ツリーハウスを作りませんか？

バードウォッチングをやるような場所も欲しいなと思っています。

6. 白河観光物産協会 伊東和雄 様

自然が一番重要になると思いますので、足元の整備が大事になると思う。

バリアフリーの対応や、関の方へ上がって行く道の整備が必要になると思う。

公園の方では、芝生や遊具は素晴らしいと思うが、水はけが悪いのか、少し泥が残っている感じがした。

そのようなところに、気配りができれば、子供から大人まで楽しめる場所に、よくなっていくのではないかと思います。

旗宿の中で特化したものを作り上げることで、例えば、農家レストランで、ここでしか食べられないものを作るなど、

メディアから取り上げられるような施設を作れると良いのではないかと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

プロモーションが大切になりますね。良いものができても届き次第で、変わってしまいます。

最近では、若い方ではSNS、高齢の方では紙媒体で、例えば市報などですかね。県を含めて物産に名乗りをあげていくのが大事ですね。

そこでしか買えないものというのも、大事なことなので、そういうものを含めてプロモーションを観光政策でやりましょう。

7. 古閑行政センター 小坂井孝博 様

先日、行政センターにて道を探ねて来られたご婦人5人くらいが大きなリュックを背負って、

聞いてみると奥の細道を歩いて尋ねる旅をしているのだそう。年齢的には60代くらいだったと思いますが、

庄司戻しの桜の場所を教えてもらいたいとのことでした。その方達の話聞いてみると、やはり、奥の細道と白河の関をタイアップ

するような事業をやれば、興味ある人もいるのではないかと思います。そういうものも、白河の関や関の森公園をPRする材料になるのかなと感じました。今、河川の土手の上を補装しており、社川の何十キロ先までしています。

サイクリングやウォーキング専用の使い方もできるかなと思ひ、例えば、箱根駅伝に出るような大学に呼びかけて、

ここなら安全に練習できるとPRしたりするのも一つの方法なのかなと考えた。

表郷に建鉾山祭祀遺跡があるが、これは東北地方で最古の祭祀遺跡になっている。

しかし、地元の人たちにはあまり知られていない。ここもPRできたら、より広い範囲で関連づけていけるのではないかと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

サイクリングルートとウォーキングルートの構想が必要ですね。

観光を中心にしたときに、街全体の計画をどのように見直す必要があるのか。

安心して来ることができるアクセスがあれば、人は増えていきます。

奥の細道もマニアがいますので、そちらもきちんと打ち出して行く必要があると思います。

奥の細道の「道」というのもテーマなのかもしれませんね。

歴史を調べて、どのように見せて行くのかも検討していきましょう。

8. 白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

関跡にきてても、よく分からないという方もたくさんいます。

関跡の方にも、説明書きをしっかりと作ることと、公園から関への案内板もなくなっている。

できた当時は白河の関を説明する公園ということで遊具はありませんでした。

平成13年から大型遊具を設置したことによって親子連れが増えるようになった。今は全利用者数の3割-4割は子供になっている。

遊びにきてても交通事故の心配がないので、安心ではあるものの、車がないと来られない場所でもあるので、不便でもある。

農村レストランの方は1月から3月まで、お客さんがこないで、休業になっている。

人が呼べるような仕掛けが必要になってくると考えている。

関の森公園は、花の里事業ということで、いろいろな花を植えたことで、来園が増えている。

この時期にはこのお花がみられるということを発信することが、必要になってきている。

また、花の選定や育て方などを教えることができれば良いと思っている。

植物や花はお金をかけずに人を呼ぶことができると考えている。

公園の中に調整池があるが、そこにはカワセミがきたり、いろいろな野鳥が来ている。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

サイン計画やプロモーションを行うことは当然として、花の活用は重要になりますね。

池の近くに桜や広葉樹を植えたりすると、池に映るのでとても綺麗にみることができる。

それらを観覧する場所が必要ですね。森羅万象を見せるのも公園の役割でもあります。

花があり、地元の風景を詠むような歌会があるといいですね。

来年に向けてコンテンツを作成して行く上で、歌会や、奥の細道を歩く会など、良いですね。

そういうものがレストランなどにもシナジー効果を生んでいきますので取り組んでいきましょう。

9. 旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

私はこの土地に住んで68年目になりますが、その中で子供を3人育てた。

子供たちが、宿泊施設で1泊してみんなでカレーを作ったり、流しそうめんをしたりしました。

子供たちは各家庭では食べないが、皆で集まって同じものを食べると、皆、美味しいと食べる。

関の森公園も、宿泊施設があるから、PRをして、子供会の予算にみあった宿泊工面をしたら良いと思う。

子供たちが白河の関の森公園では、このようなイベントがあるんだと、地元から発信していかなければならない。

昔は相撲道場を利用して、曙の部屋が合宿にきたときもあった。昔は青年会が多かったから、色々な行事ができた。

今は子供も少なく、青年会、消防団も少なくなっている。今いる子供たちを関の森公園に呼んで、楽しい思いをしてもらい、

発信してもらおうと良いのではないかと思う。また、関の森公園の中に体験農場があるが、数名しか来ていない。そのPRも必要になる。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

体験農場があるのであれば、地元の皆さんで作ったもので、地産地消で、果実酒などを作るのも良いと思う。

地元の人たちが手塩に掛けて作った味噌などもそうですが、そういう製品は売れていきます。

手塩に掛けたものは、愛情が注がれてとても美味しくなりますね。体験農場と名産品をつなげると、

みなさんが作ったもので、収入があるという、コミュニティビジネスが重要になります。

関の森公園がコミュニティビジネスの拠点になるというのも考えられますね。

10. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

皆さんたくさんアイデアがあって、それを実現するための土台は十分にあるような気がしている。

ハード面でも、施設などいろいろなものが揃っている。ただ、それを有効に活用できていないのが実感としてある。

立派な相撲道場があるが、一時は大相撲の合宿に使われたり、味噌の加工場もできた当初はとて利用されていた。

農園などもあるが、有効利用されていない。アイデアをどのように実現させていくのか。この会で検討していきたい。

白河の関を詠んでいる歌も大事にしていきたいと思う。また、既存の施設をどのように利用していくのか、

そして、周辺の自然を利用すること。田んぼアートなど、旗宿でも山の上からみることが十分にできると思う。

みなさんの意見を伺うことができ、前途洋々だなと思いました。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

地域資源は、実際にある程度磨いていかないと資源にならないことがあります。

ですから、皆さんの知恵と創意工夫、汗を流して行くことだと思います。

ハードとソフトが連携していないとちぐはぐになってしまいますので、時代の移り変わりの中でうまくいかなかった部分もあると思いますが、今こうして良い機会を迎えていますので、旗宿の皆さまにとっても大切な公園ですし、この素晴らしい里山を活かしていきたいですね。

アーティストをよんでくることも、重要なテーマになりそうですね。

里山の風景、自然の風景に少しアートを加えると、とても素敵な空間になります。

松を芭蕉とのコラボレーションでどのようなインスタレーションをするのか、里山に、夜間照明をあてて、シンボルツリーを飾りアートを置くなど、それだけで舞台になる。まずはソフトとハードをどのように繋いでいくかですね。

歴史的風致維持向上計画委員 渡辺紀子 様

先生がおっしゃっていた、懐かしさと新しさ、

今の人がみて綺麗だなという花の合間に古の人がハッと思った草などがある景観をミックスできると思う。

こんなにたくさん、自慢できるものがあると思う。

売店に立ち寄った時、美味しい梅漬けがあったが、良いものだがポップなどもつけず、普通に売っていて、控えめな印象を受けた。

周遊ルート作りなども整備が必要なのかなと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

イベントを組んで行く必要性と、それに伴う地元の方々のご協力が必要ですね。

来年にはイベントの企画も考えて、整備は徐々にしていきながら、イベントで今あるものを磨いていきましょう。

第4回 策定委員会議事録

2022 年 2 月 21 日

作成者	一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所	氏名	栗原 樹
-----	----------------------	----	------

1. 概要

日 時	2022年 2月21日 13:30-15:30
場 所	旗宿コミュニティセンター

2. 議題

議 題	
(1)開会	
(2)委員長挨拶	
(3)議事録挨拶	
(4)議 事	
①イメージパスについて	
②白河関の森公園 基本構想(案)について	
③今後の進め方	
・ 工程表	
・ 今後の策定委員会 議題(案)	
(5)その他	
(6)閉会	

議事内容	
------	--

<ディスカッション-イメージパス>

1. 元教育委員 小松裕子 様

ゲートがあるというのは、とても素敵だと思いました。
入り口なので、ここから夢が広がる楽しみな感じが伝わります。
ぜひ、作っていただきたいと思います。

2. 白河市 文化財課 新国真理恵 様

最初にみたとき「おー！」という印象でした
紐文の櫓などもありましたので、どういふふうに復元・作っていくのか気になりました

官城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

こちらはイメージになりますので、「こんなイメージも良いのではないか」という、
どんどんアイデアが誘因されていくと良いと思います。

3. 白河市 企画政策課 吉田義久 様

これからまた、いろいろな人の意見が入って変わっていくかとも思いますが、
施設のリニューアルということで、最初のイメージパスは非常に重要になると思いますので、
色々な方のアイデアが反映されていくと良いなと思いました。

4. 白河観光物産協会 伊東和雄 様

イメージパースをみて、今までの関の森公園が一新されるなどと思います。

今、現存している施設というのも鍵になってくるのではないかと考えています。

売店や相撲道場というところを、どのようにうまくコラボして行って、新しくするのが、重要なと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ありがとうございます。これは、絵コンテであり、夢を描いておりますので、

今までの既存のものをどのように使うのか、ということも含めてどこまで具体化していくのか、

引き続き、進めていきましょう。

5. 古閑行政センター 小坂井孝博 様

先生に描いていただいた絵、素晴らしいと思いました。

イメージ的なところで現実の形のところは、これからまだ先のところだとは思いますが、

可能であれば白河の関が隣にありますので、関所のイメージを入れていただくと非常にありがたいかなと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ありがとうございます。イメージパースについても、これは全体の中の一部になっているので、

関所についてもイメージの湧くものを入れていきましょう。

6. 白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

自然的なものがとても多く入っていると思います。

建物などは維持費がかかりますので、自然を活用したものを多く取り入れられると良いと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

まさしくその通りだと思います。

もともと関の森公園にある資源をどのように使うかですね。

野鳥やランドスケープ、花をどのように活かすのかというもあります。

また、これらも描いていきましょう。非常に多くのアイデアを皆様からいただいておりますので、

今まである資源に、どのように光を当てていくのかということだと思います。

今までのアイデアを絵にしていくと大変に素晴らしいものになっていくと思います。

7. 旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

白河の関の森公園は自然豊かな場所なので、ツリーハウスなどをシンボルタワーにして、

遊具の場所から離れて、このような高い場所があれば、子供達も高い場所が好きなので、

安全性も含めてきちっとした建物を作れば、子供達の利用が大きく増えるのではないかと思います。

夏になると遊具の場所で混雑している時もあるので、裏の遊歩道、散歩道などを利用して、そこを整備して

運動を兼ねた散策、遊具・ツリーハウス・山の散策、そういうものを一体にして長時間関の森公園に滞在できるように企画すると良いと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

関の森公園の一角が管理されていくようにして、中心は関の森公園で、

白河の関を含めて森づくりをしていく、多様な人たちが長く滞在する場所にしていきましょう。

そうすると相撲部屋も改めてみなさん訪れると思いますし、色々な活用ができると思います。

8. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

関の森公園の自然や歴史を組み入れた素晴らしいものだと思います。

今ある施設についても組み入れていければ良いと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

既存の施設についてもとても良いものも多いので、多少改修する必要はありますが、

何をどのように使うのか、ソフト面については引き続き検討をしていきましょう。

ソフトとランドスケープと、若干のハード面の改修で、可能であればシンボリックなところがあると良いですね。

現実性も含めて今までの既存施設も活気が溢れるように利用していきましょう。

<ディスカッション -アクションプラン->

1. 元教育委員 小松裕子 様

アクションプランの中に白河関の森公園周辺地区の「ストックの確認」ですが、

ストックという言葉がわかりやすい言葉でお伝えいただけるとありがたいです。

また、キーワードの中にある歌会も、統一した方が良いかと思いました。

一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所 早川研究員

ストックは、地域の魅力や資源という意味になります。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ストックとフローという言葉がありますが、ストックは貯金でフローは現金という意味になります。

日常的に動いていくものと、ストックとしては地域の財産となるものという意味合いで良いと思います。

2. 白河市 文化財課 新国真理恵 様

前回、白河関周辺の文化財がどのようなものがあるのか、というお話がございましたので、

資料として持参しました。白河市文化財という資料がありましたので、そちらから、白河関跡を抜粋したものになります。

奥の細道で、関山の満願寺までどのような文化財があるのか、白河関跡の周辺にも文化財が多くありますので、

基本構想案のp73(3)などで、キーワードで散策路や林道などあり、アクションプログラムの中にも、

白河の歴史を知り体験する場としての公園整備とありますが、それにあわせて一町仏養塔や、庄司戻しの桜などもあわせて、

白河の跡の周辺の歴史もあわせて知ってもらえると良いかなと思いました。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ありがとうございます。周辺の史跡などもしっかりと位置づけをして、それを物語に紐解いていくと良いと思います。

白河は歴史が深いところですね。引き続き、しっかりと調査していきましょう。

3. 白河市 企画政策課 吉田義久 様

構想の中で長期的に人口が減少しており、ではどのようにそれを食い止めていくのか、また増やしていくのか、というときに、

長期滞在、地域との交流して融合していくのか、というところがもう少し強く書かれても良いのかなと思います。

その先のストーリーが描かれても良いのかなと思いました。

今の地域の弱くなってきている現状、人の活力が落ちてきているという現状があるので、

新しく作った時に、その活力をどの程度維持できるのが鬼門になるかだと思いますので、難しい点でもありますし鍵になる点だなと

考えております。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

ありがとうございます。持続性ですよね。人口減少社会についてどのように取り組んでいくのかというのは、社会背景において絶対的なことですので、公園が人口減少社会において、このような効果があるというのを言及する必要がありますね。最終的には、交流人口から定住人口だと思います。まず交流する場所として、公園は重要な所だと思います。そこにいつのまにかコテージができた、長期滞在で、ワーケーションが流行っている時代ですので、お父さんが定年したら、こっちに移動しようか、というような場所を創るといのは、現実的にあると思います。文化と自然があったら皆さん住みたいと思いますからね。なおかつ、白河市のように歴史のある場所は人気があります。歴史のあるところに、皆さん憧れるんですね。そこをきちんと訴えかけていくことが大事だと思います。松尾芭蕉が来た場所ですから、そのようなことは、やはりきちんとPRする必要がありますね。総合計画とも一体となって進めていきましょう。

4. 白河観光物産協会 伊東和雄 様

アクションプログラムのイベントについて、前回、イベントとしてカレー作りや流しそうめんのお話もあったので、そういうところも案の中に入れられると良いと思いました。周りの方の参加の方が強いように受け取れるので、近隣住民の方が率先するような言葉になると良いかなと思いました。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

地元が地盤になるのが一番のことですからね。地元があり、そこに色々な人が関わってくるのが重要ですからね。

5. 古閑行政センター 小坂井孝博 様

全体的に素晴らしい計画になっていると思います。相撲道場がとてもしっかりと考えておまして、どのように扱うのか考えたときに、先生もおっしゃられたように、滞在してもらい活用してもらう。そのためには宿泊施設を整備して、当然相撲なので、お風呂も必要になりますし、交流センター、宿泊施設をしっかりと整備して、例えばきつね？温泉のようにバイオマスでお湯を沸かしている施設もあるので、バイオマスなどの環境に配慮した施設にできれば良いと思う。宿泊の条件を整えば、大学の相撲部などに声をかけたり、宿泊施設があれば相撲道場も有効活用できるのではないかなと思う。また、コロナの影響で少人数のグループが多く、キャンプも流行っていることもあるので、オートキャンプ場を整備して、そこで泊まって、周辺を散策してもらう、それも一つの方法かなと思います。手作業で行える、小さい田んぼがあれば、体験農業ができて良いと思った。中間の管理は地元の方をお願いして、田植えや稲刈りが体験できると良いと思う。自分で植えたものを収穫して、昔ながらの方法で作る。そういう体験をすると子供達もお米のありがたさなども学べると思う。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

バイオマスの温浴施設については、私も考えており、遊具で遊んでいる親子連れの方も、泥だらけになってもシャワーなどの施設があれば、全然変わってきます。合宿所としても、華美なものではなくいいので、自然の中に溶け込むような滞在施設を考えています。良いレストランと温浴施設があれば、希望が持てると思う。また、ホテルではなくコテージのようなものを建てて、あまり人と接続せずに、過ごして帰ることも流行って来ている。キャンピングカーやグランピングもありますが、おしゃれなムードでアウトドアもできる、交流のための滞在施設を計画していけると良いと思う。農業体験については、収穫に来ていただいて、故郷を創るという意味ではびつたりの活動になりますね。田植えと稲刈りにしっかりと来ていただくことで、それが学校にもなると思います。そういうものを含めて、地元の方に登場いただける場所ができれば良いと思います。まずは、交流人口を増やしていくことですね。

6. 白河関の森公園 園長 齋藤仁 様

花や木について実際に、その場所で学ぶことができる学習の場があって、また、そこに自分に関わることでできる場所、自然を体験できるプログラムがあると良いと思う。管理の立場からいうと、今現在でも維持していくのが大変であるので、その点についても課題があるかなと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

森づくり花づくりを皆さんでやっていく、まさにファンづくりだと思います。地元の方だけでも大変ですし、ファンクラブができると、地元の方のやりがいも、うまれてくることと思っています。共に創っていくということが、大きなテーマになると思います。

7. 旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

このイベントやアクションをいっぺんにやるのは難しいと思いますので、
その中からピックアップして、どうしたら関の森公園に来ていただけるのか、実現してステップアップして、段階を踏んだ方が、
私は良いのかなと思いました。子供も大人も全員が楽しめる、1日楽しめる公園が理想だと思っています。
花の植栽、希望する人たちは親子で来て、花の植え方、管理の仕方を公園で指導する、農業の体験なども街の子供達には有意義な活動になる。
史跡探索家の人たちに、白河市のこういう史跡は重要なものなので、よく整備しといた方が良いと言われました。
関の森公園から散策しながら、一周してきて、1日遊べるような体験も大事だと思います。
庄司戻しの桜も、今まで2本あったが、去年1本枯れてしまったが、この前で写真をとっている人たちも多いので、
地元にはこういう史跡があるんだというのを、もっとPRしていくと良い。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

地元の風景が失われていく中で、来年以降はランドスケープの専門家も連れてくるので、植樹をどうするのかということも含めて、
四季折々をどのように楽しむのか、ベンチ一つおくにしても、見せ場をつくる必要がありますので、そこを考えていきましょう。
農業体験も含めて、我々が大地と共に生きることがSDGsにおいても大きなテーマになっています。
今は、たくさんアイデアを出していただき、次に場所と時間と人が割り当てるので、そうなった時に、段階的に実現していく
ことになると思います。ファンクラブを増やしながら、来年度以降、アクションプランの具体化を進めていければと思います。

8. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

街歩きMAPについては、里歩きMAPなどに変えた方が良いかなと思いました。
関の森公園で、相撲道場、水車小屋、ふるさとの家、ヴィジュアルハウス、このような既存の施設が有効利用されていないのが、
地元に住んでいても非常に気になっているところではある。イメージパスにプラスして、自然の中で活かせるものが必要かなと思います。
歌の話ができましたので、ネットについて調べてみると、藤原清衡が白河の関から外ヶ浜にいたるまで一丁ごとにわたって建てた
もので、のこっているものが、唯一ここにあるもので、貴重なものになっている。
ですが、実際にその場所に行ったのは、私もつい最近のことでしたが、それだけ歴史があるのだということにも驚きがあります。
キーワードをもとに見極めて今の施設を有効利用してさらなる活用ができるようにすることと、新たな取り組みをすることが重要だと思います。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

このアイデアを来年、どのように入れ込んでいのかということですので、
今までの施設を再利用する、新しい活用をする、リノベーションですね。また、地形を活かしきれていない部分もあるので、
その部分を織り交ぜながら、新しさと、今まであったものが生まれ変わるのと、両方の魅力が出ると思います。
来年はプランを現実化していく、その中で、100や200のプランを実現していくことを長年進めていけば良いですね。

9. 元教育委員 小松裕子 様

旗宿地区の人たちが、どのように感じているのか、
一番身近なところで公園を見守っていく立場の方なので、
旗宿の人たちが若い人たちを含めて、どうあっていきたいのか、それに沿うかたちが良いなと思います。

10. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

我々、どの地域もいま、高齢化が進んでいて、そば組合や味噌組合など、いろいろな活動をしているが、
ほとんどが70前後の人たちが中心になって地元を盛り上げている。
若い人たちは仕事や子育てに軸足をおいているので、地域を盛り上げていく中心が高齢者なので、
こういう風にしたという願望はあるが、後継者がいなく、後継者を地元だけで確保するのは無理だと思っています。
白河全体から、皆んなが活動するために協力してもらおう。地域だけで全てを賄うのは難しいと思っています。

宮城大学 理事・副学長 風見正三 委員長

いろいろな人が新しく入っていただいて、最終的には場づくりですね。
住むのもいいし、交流もいいし、旗宿の魅力作りになるような公園づくりを考えていきましょう。

第5回 策定委員会議事録

2022 年 3 月 27 日

作成者	一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所	氏名	栗原 樹
-----	----------------------	----	------

1. 概要

日時	2022年 3月25日 10:00-11:30
場所	旗宿コミュニティセンター

2. 議題

議 題
(1)開会
(2)委員長挨拶
(3)議事録挨拶
(4)議 事
①白河関の森公園 基本構想（最終案）について
②アクションプログラムについて
③白河関の森公園 基本構想（概要版）について
(5)各委員からの挨拶
(6)委員長挨拶
(7)その他
(8)閉会

議事内容

<ディスカッション-基本構想概要版-ご挨拶->

1. 元教育委員 小松裕子 様

素敵な資料になっており、これまでやってきたことが形になっていて、とても嬉しいなと思ひ拝見しておりました。

私もこの委員会のメンバーに任命いただいた時に、知識の無い、一市民として参加させていただきましたが、

任命いただいたことで、全国でどのような公園が人気があるのか、支持されている公園にはどのようなものがあるのか調べたり、

農家レストランやグリーンツーリズムの取り組みについて、県内でも東側の方では行われていることを知り、学ぶ機会になりました。

関の森公園、旗宿地区の財産、先生のお言葉を借りればポテンシャルの高い里山であり、改めて身近な公園で愛着が頂ける公園であると思ひます。

風見先生をはじめとして、意識の高い皆様の集まる会でしたので、参加するたびに発展的で刺激的であると思ひながら参加させていただきました。

これからの関の森公園の発展を見守りながら、1人のファンとして今後も参加していきたいと思ひております。

半年間ありがとうございました。

2. 歴史的風致維持向上計画委員 渡辺紀子 様

前回所用があり参加できませんでしたが、今日の資料をみて凄く形になっていると思ひました。

私はこの委員会に参加してから、まず白河にある既存のものと被らないような公園になると良いと思ひていたので、

それが資料にある、既存の公園との役割・機能分担に関わるところだと思ひますが、

南湖森林公園との住み分けを色々調べておりました。南湖公園の方では、森の案内人という方々がおり、

南湖公園は植物を採ってはいけないなど、きちんと守られているところとなっています。南湖公園の良いな思ったところは、

学校がきちんと訪れてくれているところです。市内の学校がカリキュラムの一つとして自然を学び、木工体験をしたりなど、

必ず白河市民の子供であれば一回見たことはある、というのは、良いところだと思ひました。

子供が一回は訪れてくれる、子供のリストに載るような公園になると良いと思ひました。

こちらは平成の森のパムフレットで、遊ぶ学ぶ感じとなっています。子供たちが学ぶ場所にも公園はなしてほしいと思ひています。

南湖公園とは違う体験や住民との関わりができ、人と触れ合える体験が出来たら良いと思ひます。

市内での連携ということで、南湖公園の森の案内人との連携もそうですし、里山ネットワークというものがあり、そこと連携すると、

写真を撮ったり花を見てくれたりするのではないかと思ひます。森の案内人をやっている友達に聞いたのですが、

白河の関に来て、欲しいものは「カフェ」と言っていました。子供を連れて来て食べるのはお弁当を持って来たりしても、

お茶を飲んだりできる気の利いたカフェがあると良いと言っていました。これから整備されていくと良いと思ひます。

まずは既存の施設の活用が重要だと思ひますので、既存の施設を磨いていけたら良いと思ひます。

3. 白河市 文化財課 新国真理恵 様

文化財課では、今までは白河の関を中心に建物などの視点から見ていることが多かったのですが、

隣にある関の森公園と一体となって、PRを考えていく必要があると、今回の委員会を通して学ぶことができました。

また、地元の方々に直接意見を伺える機会は少ないので、非常に勉強になりました。自分にとっても価値ある体験だったと思ひています。

4. 白河市 農林整備課 飯田清 様

基本構想を拝見させていただき、非常に先が楽しみになる内容だと率直に感じました。

今回、参加させていただき、行政側の立場として会に出るケースが多いので、大事な目線で考えていただける皆様の意見を聞くことができ、非常に良かったです。既存施設の有効活用というところが非常に気になるところで、SDGsということもあり、既存のものをリノベーションしていくことも重要ですので、既存のものを使いながら進めていけたら良いなと思いました。

南湖森林公園では農林整備がされており、管理人の方々が積極的に整備してくださっており、先週の地震の後でも、平日、結構な人数が公園に訪れており、そういった公園になって欲しいと思いました。

また、木育などそういった面でも農林整備課として関わっていけるのではないかと思います。

今回は住民説明会がコロナの関係で延期になりましたが、住民がどのように考えているのかを活かしながら、来年度以降も進めていくことが、大事になると感じました。半年間、関わることで非常に勉強になりました。来年度以降も楽しみにしております。

5. 白河市 企画政策課 吉田義久 様

オブザーバーという立場で参加させていただき、最初、どのようにしたら良いか迷っている時に、

自由に発言いただいで大丈夫と、風見先生に言われ、心が軽くなり、たくさん話をさせていただきました。

構想は固まったということで、これから4月以降、実際に具体的なソフト・ハードの議論がされていくと思いますが、

旗宿の方の要望をうけて、自分は何かができるのか、行政として何かができるのか、お互いに意見を出し合って合意形成を図りながら、

良いものができていければと思っております。ハードとともに、ソフトの面においても議論ができたことは、非常に有意義だったと思います。

それを動かす人の育成が出来れば、持続的に発展的に上手くいくのかなと思います。これからも宜しくお願い致します。

6. 未来の準備室 那須彩乃 様

今回、委員に任命いただき、本当に光栄です。予定の関係があり参加できない会があり久しぶりの参加となりましたが、

この構想をみて、このような素晴らしい公園がでいたら凄いことになるなと思いました。ツリーハウスや地産地消のレストランがあり、

私自身が行きたくするような公園の構想で、実現したらすぐに通いたいなと思いました。この構想ができたのは、

皆様のご意見が反映されたもので本当に素晴らしい会議だったなと思います。今回参加させていただき、ありがとうございます。

7. 元ICT支援員 畠山里奈 様

去年6月から白河に移住し、移住者として参加させていただきました。前回は参加できず今回、資料をみて、

これまで出されてきた意見がこうして言葉にまとめられているので驚きました。まとめてくださり凄いなと思うのと、嬉しい気持ちです。

策定委員会ということできちとした印象があるのですが、地域の方もいらっしゃいますし、話を聞いてくださる皆様がいる、

毎回来るときは緊張しますが、自分の意見を安心して言える場だなと思い、こうしてこの場で意見を聞いてくださり、ありがたいと思っています。

またこれからも何らかのかたちで関わりたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

8. 古閑行政センター 所長 小坂井孝博 様

この委員会に参加させていただき、委員の皆さんの様々な意見を拝聴できましたこと、

さらに自分の考えていたことを皆さんにシェアできたことに、感謝を申し上げたいと思います。

素晴らしい構想が出来上がったと思います。市長も常々、地元の資源をどのように活用するのか、磨いていくのか、

ご挨拶の中で語られています。良いものがあっても、それを磨いていかないと地域の方々や周りの方々に理解してもらえない部分があると思います。

そうした意味でもきちとした方向性を捉えられたことは、公園整備も含めた地域全体の振興に大きな役割を果たすことと思います。

公園そのものの整備も必要だと思いますが、広い目で見ますと交通網や、この地域は東北の最南端ですが、そのような見方をするのか、

関東との接点という見方もできます。栃木県の県北と白河市は交流の動きが出ています。

関の森公園を整備して、色々な人たちに利活用していただくという考えが根本にあるので、東北も大事ですが、関東にも目を向けて、

249号線のあたりに、白河の関や公園のPRが出来るような看板などがあれば、集客にも繋がるのかと思います。

道路の整備も含めて、関の森に大きいバスが入ってこられるような整備ができれば施設がもっと活かせるかと思っています。

9. 白河関の森公園 園長 斎藤仁 様

皆さんの意見が取り入れられまして、良かったと思います。今まで30年近くイベントなどをやってきましたが、続かなくなってしまったものがあります。遊具も含めて実際に持続的に長く続けられるようなアクションプランにしていければと思います。先日の地震で公園の遊歩道の石垣も崩れ、今、公園のメンバーで補修しております。安全面も考慮して整備していく必要があると思います。今はSNSなども発達しているので綺麗な花などがあるので、個人的に来てPRしてくれるので、それらも活用したいと思っています。アクションプログラム実行の前に、私たちでも取り組めることは取り組んでいきたいと思っています。

10. 旗宿自治会 会計 穂積広 様

取りまとめていただいた資料を毎回、拝見させていただき感謝を受けておりました。公園で個人的に取り組んで来たイベントがあるので紹介させていただきます。まず表の中にもビオトープとありますが、白川という川があり、水質調査と生き物調査、アクアマリンの生物に詳しい先生を招待し、地元の小学生と父兄を招待し50人くらい参加したのですが、調査と発表会を兼ねてイベントを行いました。また、白河の関を何とか皆さんに紹介したいということで、白河の小学校に、白河の関歴史とふれあいの田んぼというような名目で、教育委員さんと協力し白河全域の学校に、資料を作成し、配布しました。白河市の観光ボランティアの方に協力してもらい、観光地の案内、庄司戻し桜から白河の関まで徒歩で色々な施設の説明を受け、そのようなイベントを行いました。地元のそば生産組合のご協力と、地元の農家のご協力をいただきながら、おにぎりとお蕎麦をお昼に提供しました。ただ、それは一回で終わってしまい大変残念ではありました。ホテルの里については、ホテルの観賞会を計画して10年くらい行いましたが、ホテルは夜に光るので、お子さんの参加が難しい面がありました。ただ、ホテルを見たことがない人たちも多かったので、やったことに対しては成功だったと思います。今後の活用に関しては、そういったノウハウが多少ありますので、協力していきたいと思っています。

11. 旗宿自治会 副会長 大森泰之 様

去年の11月からこの会に参加して、何の変哲も無い山が市の構想で関の森公園になり、出来た当初は立派な堅穴式住居が3つほどありました。それが撤去され、最初の姿と今は異なってしまいました。地元の間人としては、このような公園ができた歴史をみてきました。地元には蕎麦組合もありますが、味噌組合も存在しています。毎年2月か3月に地元で採れた大豆と生産したお米を使い、味噌を作っています。今年は1200kg作りました。地元の住民としては、関の森公園の施設を利用して、一般に案内できたらと思います。地元にいる限り、関の森公園の活性化に協力していきたいと思っています。

8. 旗宿自治会 会長 伊藤一伸 様

関の森公園の基本構想ということで、夙見先生をはじめ、委員の皆様の意見をまとめていただいた、これは旗宿の住民にとって自治会長として非常にありがたいことです。私個人としまして、一時期、白河から離れて戻って来たことがあり、離れ帰って来ると、自分の生まれた所の良さを改めて感じました。関の森公園に対する思いは、住民の皆さんからもたくさん聞いて来ました。それをこのようにまとめていただいたことは、大きなことだと思っていますし、地元の意見がこちらに反映されたこと、とても良かったと考えています。作ることは簡単であるが、なぜこれまで作って来たものが衰退してしまったのか、私は人の力にあると思います。旗宿地域だけの人間で、公園を愛するのは難しいので、白河市や近隣の市町村、皆さんの力が必要だと思いますので、今後とも力を貸していた来ながら、白河市全体を盛り上げていくために、少しずつやっていきたい。ワークショップなども開催しながら、地域住民の意見を反映しながら、公園の改革に取り組んでいけたらと思っています。

利用者及び住民アンケート集計結果・考察

◆実施概要

<目的>

関の森公園の利用実態及び、旗宿地区の住民の公園の利用状況を調査することで、強みと弱み、検討課題の抽出を行うと共に、住民及び利用者との共創的な公園リニューアルを実現するためのアンケート調査を実施した。

<調査設計>

1. 利用者アンケート

調査期間 2021年10月29日(金)・30日(土)の2日間
両日とも10:00-16:00の計12時間

調査対象 関の森公園の利用者

調査方法 調査員による現地・直接ヒアリング方式

アンケートフォーム 別紙参照 資料①

回収状況 10月29日(金) 29件、30日(土) 50件 計79件

2. 住民アンケート

調査期間 2021年11月中旬～11月29日

調査対象 旗宿地区にお住まいの世帯(関の森公園周辺世帯)

配布数 117部

調査方法 アンケート用紙のポストイング及び郵送による返送方式

アンケートフォーム 別紙参照 資料②

回収状況 46件

◆アンケート集計結果およびサマリー

1. 利用者アンケート

<集計結果>

資料③ 利用者アンケート集計結果 参照

<結果サマリー>

- 利用者の構成は、親子 42%、家族 47%で合わせて 89%を占めている。
- 年齢層（アンケート取得者）は、20代 10%、30代 43%、40代 20%、50代 9%となっており、利用としては、その子ども（主に未就学～12歳未満）と一緒に来訪している。
- 居住地は、市内 37%、市外 44%と県外 19%合わせて 63%となっており、白河市以外の地域からの来訪者数が上回っている。
- 2-①利用回数については、2回目 11%、3回以上 71%となっており、82%をリピーターで占めている。
- 2-②主な利用目的としては、アンケート取得人数 79人に対して 71人が「子どもを遊ばせる」としており、大半を占めている。
- 2-④公園内の好きな場所では、「遊具」が 63人で一番多く、次いで多い場所が「その他の中の芝生の広場と水遊び場」で 18人となっており、利用状況を見ても、この2箇所に集中している。
- 2-⑤満足していることについては、「子どもの遊び場となっている」62人、「自然豊かである」46人で大半を占めている。
- 2-⑦今後期待することとしては、「子どもの遊び場」60人と一番多く、次いで「緑や自然など自然豊かな場であること」27人、「自然体験など教育環境の場になる」18人となっている。
- 2-⑧公園に望む施設や設備については、「トイレの拡充」19件、「遊具の充実・手入れ」16件と大半を占めている。
- 2-⑨利用においての問題点については、トイレ関連と遊具関連が多く、その他に、ベビーカーや車椅子などが通りにくいなど、バリアフリーを意識して欲しいとの意見があった。
- 3 関の森公園以外でよく利用する公園では、多く上がったところは、南湖公園 34人、白河総合運動公園 21人、表郷鶴子山公園 24人となっている。それぞれの主な目的としては、南湖公園が散策・散歩、白河総合運動公園は、遊具で子どもを遊ばせる（室内遊び場をよく利用する）、表郷鶴子山公園は、遊具で子どもを遊ばせるとなっており、利用者の中で目的に応じた使い分けが行われていることが窺える。利用目的が関の森公園と重複する表郷鶴子山公園については、現在、

遊具が工事中のため、関の森公園に来たという声も多く上がっていた。

- 5 世界の先進的な自然と調和した教育施設や公園に対する感想について、「とても興味がある」38%、「興味がある」52%、合わせて90%となっており、自然環境や教育への関心の高さが窺える。

<結果からの考察>

- 白河関の森公園に対する利用者の評価は80%を超えるリピート率からも非常に高く、市外、他県（主に栃木県）より評判を聞いて来訪する人も多数いる。
- 平常時（イベント等のない日）の公園利用は、遊具を目的とした「子どもを遊ばせにくる」ファミリー層が大半であり、歴史・自然に対する来訪は非常に少ない。
- 表郷鶴子山公園と機能が重複していることもあり、表郷鶴子山公園の工事が終了することで、利用者が減ることも予想されるため、今後に向けては、差別化も考慮に入れる必要がある。
- 今後の期待として、「自然の豊かさ」「子どもの遊び場」「自然体験など環境教育の場」などが多くあがっていることから、自然・遊び・教育を融合させたコンセプトの公園づくりが求められている。

2. 住民アンケート

<集計結果>

資料④ 住民アンケート集計結果 参照

<結果サマリー>

- 2-②より、利用目的として、「行事やイベントへの参加」が35件と突出して多く、「子供を遊ばせる」が19件と2番目になっており、次いで「散歩・軽い運動」「花木等の自然を楽しむ」の順となっている。
- 2-④から、公園内で満足していることとして、「自然豊かである」が24件と一番高く、次いで「子供の遊び場となっている」が23件、「憩いの場となっている」が14件の順となっている。
- 2-⑤の関の森公園での思い出については、イベントに参加したことが14件と、突出して多くなっている。
- 2-⑥のリニューアルに伴う関の森公園に期待や望むことについては、「自然と調和した公園整備」「自然体験等の体験機会の提供」といった、自然をキーワードとした要望が計15件と一番多くなっている。次いで、現有施設の有効利用、地域との連携、を望む声が多く挙がっている。
- 2-⑦の公園に望む施設や設備については、キャンプ場を望む声が8件と一番多

くなっている。また、エコ施設が3件、アスレチック場2件など、自然をキーワードとした施設を望む声が際立っている。また、コテージ、ロッジなどの宿泊施設を望む声も4件とキャンプ場に次いで多くなっている。

- 2-⑧の旗宿地区（公園含む）で課題に感じていることとして、
- 関の森公園については、多く意見が挙がったものとして、ベビーカーや足の不自由な人にとって、歩きづらいなどの声から、道の整備を求めるもの、有休施設の有効利用、白河関跡のPRの強化などの意見が複数挙がっている。
- 旗宿地区の課題については、少子高齢化の進行の懸念から、外部からの意見を積極的に取り入れることや地域の人たちの意識の改革の必要性の声が挙がっている。また、地域に仕事がないという意見も挙がっており、地域の活性化を課題に感じている傾向が窺える。
- 4の公園以外の好きな場所やスポットについて、「白河ラーメンのお店」に次いで、「白河関跡」が20件で2番目、「小峰城」も14件で4番目に多くなっている。
- 5の世界の先進的な自然と調和した教育施設や公園に対する感想について、「とても興味がある」39%、「興味がある」35%、合わせ74%となっており、自然環境や教育への関心の高さが窺える。

<結果からの考察>

- 利用目的また、フリー記述の思い出への質問に対し、「イベントや行事に参加したこと」が突出して多くなっていることから、地域住民にとって非常に愛着が深いと思われます。また、過去の活気ある関の森公園を思い返すコメントも多く挙がっており、関の森公園も含めた地域全体で、人が集い交流する活気ある公園構想が求められている。
- 地域住民にとって「自然の豊かさ」「白河関跡を初めとした歴史」がステータスになっており、リニューアルにおいても、「自然」「歴史」というキーワードを反映した公園づくりが求められている。
- 関の森公園の満足していること、また、リニューアルへの期待や望むこと、世界の先進的な自然と調和した教育施設や公園への興味など、一番のステータスとなっている自然を生かした公園づくり、また、キャンプや自然体験などソフト面の提供を視野に入れた公園づくりが求められている。
- まとめとして、「自然との調和」「歴史を知る」「体験する」「交流の場」としてのハード、ソフト面を考慮に入れた公園づくりが求められている。

資料①

関の森公園ご利用者様アンケート

関の森公園のリニューアル構想に伴い、ご利用者様より公園利用についてのアンケートを採らせていただいております。ご利用者様の声を聞くことにより、皆さまに親しまれる公園づくりを目指しておりますので、ぜひ、ご協力よろしくお願いします。

1、あなたについて教えてください（該当するものに○をつけてください）

* 未就学・小学生については保護者の方、ご記入をお願いします

ご利用日：2021年 月 日

性別	男性 女性
年齢	6歳未満 12歳未満 20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
居住地	白河市内 白河市外() 福島県外()
来訪人数	1人 2人 3人 4人 5人 6人以上
来訪構成	独り 夫婦 親子 家族 友人同士 サークル 会社・組織団体 その他()
交通手段	徒歩 自転車・バイク 自動車 公共交通機関(バス、電車) その他()
仕事	会社員 公務員(教職員除く) 教職員 医療関係者 自営業・自由業 経営者・役員 パート・アルバイト 専業主婦・主夫 定年退職 無職 大学生・専門学生 高校生 中学生 小学生 未就学児 その他()

2、関の森公園について教えてください(該当するものに○をつけてください)

① 来訪回数 初めて 2回目 3回以上

② 利用目的(複数回答可)

休憩・語らい・リフレッシュ 散歩・軽い運動 子どもを遊ばせる 花木等の自然を楽しむ
ペットの散歩 スポーツやレクリエーション 行事やイベントへの参加
その他()

③ 利用頻度

ほぼ毎日 週に2,3回 週1回 月に数回 月1回程度 ごくたまに利用

④ 公園内の好きな場所(複数回答可)

白河関跡 奥の細道遊歩道 梅園 江戸の関所 ふるさとの家 水車小屋
相撲道場 ビジュアルハウス 体験農園 交流センター 遊具 芝生広場
その他()

⑤ 満足していること(複数回答可)

自然豊かである 憩いの場になっている コミュニケーションの場になっている
子どもの遊び場となっている
その他()

	その他	目的

4、公園以外の市内の好きな場所やスポットを教えてください(複数回答可・該当するものに○をつけてください)

小峰城 白河関跡 白河駅 白河だるまのお店 まほろん きつねうち温泉 聖ヶ岩 ゴルフ場
 メガステージ白河 白河ラーメンのお店 和菓子店 酒蔵 カフェ マイタウン白河 図書館
 その他()

5、世界では、別紙のように先進的な自然と調和した教育施設や公園が作られています。ご感想をお聞かせください。
 (別紙参照・該当するものに○をつけてください)

とても興味がある 興味がある どちらとも思わない 魅力を感じない

アンケートのご協力ありがとうございました。
 共創的な公園デザインに有効活用させていただきます。
 白河市



世界の先進的な自然と調和した教育施設やエコパーク・公園

森の学校（宮城県東松島市宮野森小学校）

東日本大震災で高台移転を期に、いかに自然との共生し、地域との共生をしていくかをテーマに、設立された公立小学校。自然特性と地域特性を踏まえつつ生態系にも配慮したプランニング方式を用いており、校舎は全て木造、また、建設地は自然との共生と環境特性を科学的に把握するとともに、地域の特色を最大限に活かした学校の配置がなされている。



森の幼稚園（デンマークロラン島）

幸福度世界NO.1を誇るデンマーク ロラン島にある、「校舎は森」という1日の大半を森の中（屋外）で過ごす幼稚園。日本のようなカリキュラムは一切なく、自由に自然の中で、過ごすことで、個性と自主性が育まれると共に自然との共生観念が醸成されている。



CAT（代替技術センター）イギリス

再生エネルギー、持続可能建築、有機農法など、環境に調和した生活のための代替技術の実験的取り組みを集結するヨーロッパ最大の環境教育センター。人里離れた地にありながらも、環境活動家はもちろん、子どもから大人まで多様な人々を惹きつけ続けている。



⑥ 関の森公園リニューアルに伴い、今後、関の森公園への期待や望むこと(ご自由にお書きください)

⑦ 公園に望む施設や設備(ご自由にお書きください)

⑧ 旗宿地域(関の森公園を含む)での課題に感じていること(ご自由にお書きください)

3、 関の森公園以外でよく利用する公園および目的を教えてください
(該当するものにチェックを入れて主な目的をご記入ください)

✓	公園名	目的
	南湖公園	
	城山公園	
	白河総合運動公園	
	しらかさの森 スポーツ公園	
	高山西公園	
	高山北公園	
	一里段公園	
	友月山公園	
	稻荷山公園	
	向新蔵児童公園	
	表郷総合運動公園	
	表郷鶴子山公園	
	大信総合運動公園	
	東風の台運動公園	

	その他	目的

4. 公園以外の市内の好きな場所やスポットを教えてください（複数回答可・該当するものに○をつけてください）

小峰城 白河関跡 白河駅 白河だるまのお店 まほろん きつねうち温泉 聖ヶ岩 ゴルフ場
 メガステージ白河 白河ラーメンのお店 和菓子店 酒蔵 カフェ マイタウン白河 図書館
 その他()

5. 世界では、別紙のように先進的な自然と調和した教育施設や公園が作られていますが、ご感想をお聞かせください。（別紙参照・該当するものに○をつけてください）

とても興味がある 興味がある どちらとも思わない 魅力を感じない

アンケートのご協力ありがとうございました。
 共創的な公園デザインに有効活用させていただきます。
 白河市



世界の先進的な自然と調和した教育施設やエコパーク・公園

森の学校（宮城県東松島市宮野森小学校）

東日本大震災で高台移転を期に、いかに自然との共生し、地域との共生をしていくかをテーマに、設立された公立小学校。自然特性と地域特性を踏まえつつ生態系にも配慮したプランニング方式を用いており、校舎は全て木造、また、建設地は自然との共生と環境特性を科学的に把握するとともに、地域の特色を最大限に活かした学校の配置がなされている。



森の幼稚園（デンマーク・ロラン島）

幸福度世界NO.1を誇るデンマーク ロラン島にある、“校舎は森”という1日の大半を森の中(屋外)で過ごす幼稚園。日本のようなカリキュラムは一切なく、自由に自然の中で、過ごすことで、個性と自主性が育まれると共に自然との共生観念が醸成されている。



CAT（代替技術センター）イギリス

再生エネルギー、持続可能建築、有機農法など、環境に調和した生活のための代替技術の実験的取り組みを集結するヨーロッパ最大の環境教育センター。人里離れた地にありながらも、環境活動家はもちろん、子どもから大人まで多様な人々を惹きつけ続けている。



資料③

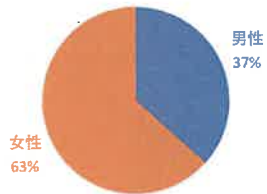
利用者アンケート集計結果

1、あなたについて教えてください

<性別>

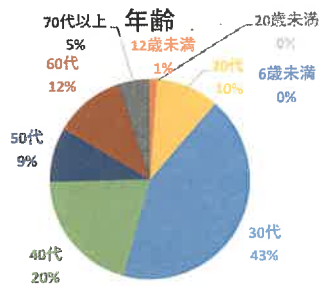
	男性	女性	計
性別	29	50	79

性別



<年齢>

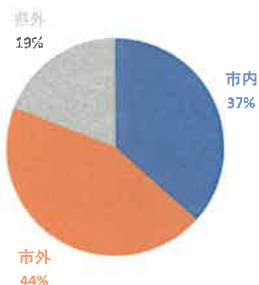
	6歳未満	12歳未満	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
年齢	0	1	0	8	34	16	7	9	4	79



<居住地>

	市内	市外	県外	計
居住地	29	35	15	79

居住地



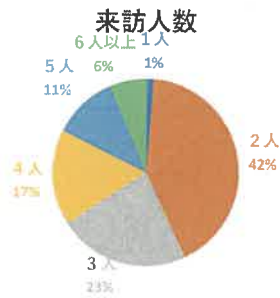
市外内訳	
西郷村	5
棚倉町	4
中島村	10
矢祭町	1
浅川町	2
郡山市	4
泉崎村	1
鏡石町	3
須賀川市	3
会津若松市	1
伊達市	1
計	35

県外内訳	
埼玉県	2
栃木県	3
那須塩原市	8
大田原市	2
計	15

* 10月29日に中島村の幼稚園遠足あり

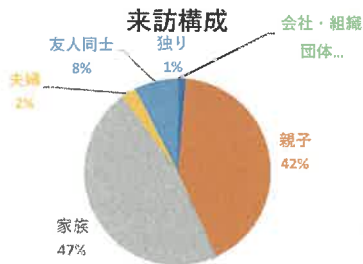
<来訪人数>

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	計
来訪人数	1	33	18	13	9	5	79



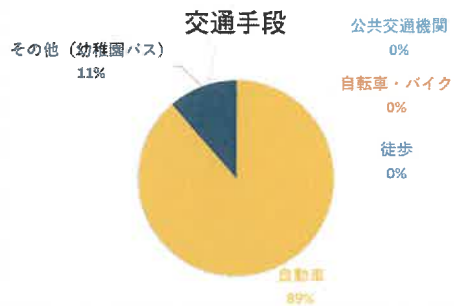
<来訪構成>

	独り	親子	家族	夫婦	友人同士	会社・組織団体	その他	計
来訪構成	1	33	37	2	6	0	0	79



<交通手段>

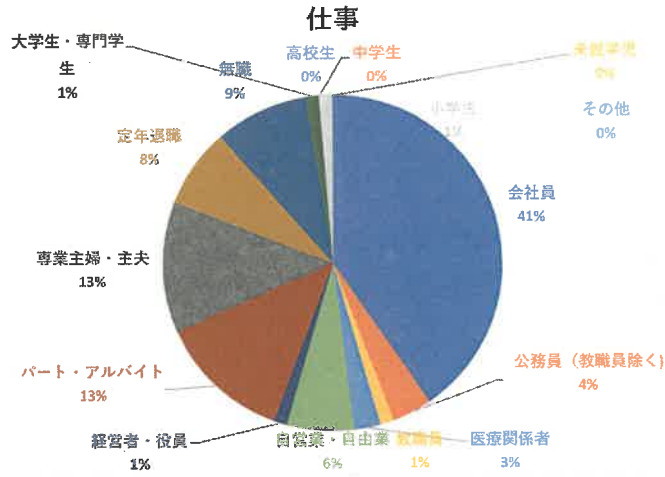
	徒歩	自転車・バイク	自動車	公共交通機関	その他（幼稚園バス）	計
交通手段	0	0	70	0	9	79



<仕事>

	会社員	公務員（教職員除く）	教職員	医療関係者	自営業・自由業	経営者・役員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	定年退職
仕事	32	3	1	2	5	1	10	10	6

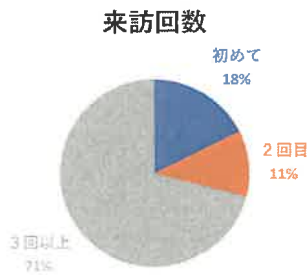
	無職	大学生・専門学生	高校生	中学生	小学生	未就学児	その他	計
	7	1	0	0	1	0	0	79



2、関の森公園について教えてください

① 来訪回数

	初めて	2回目	3回以上	計
来訪回数	14	9	56	79



② 利用目的

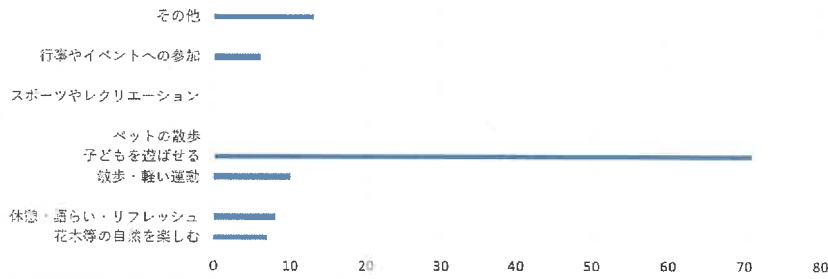
	花木等の自然を楽しむ	休憩・語り・リフレッシュ	散歩・軽い運動	子どもを遊ばせる	ペットの散歩	スポーツやレクリエーション
目的	7	8	10	71	0	0

行事やイベントへの参加	その他
0	13

<その他内訳>

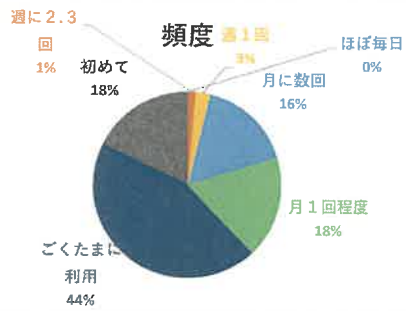
幼稚園の遠足	13
--------	----

目的



③ 利用頻度

	ほぼ毎日	週に2.3回	週1回	月に数回	月1回程度	ごくたまに利用	初めて	計
頻度	0	1	2	13	14	35	14	79



④ 公園内の好きな場所

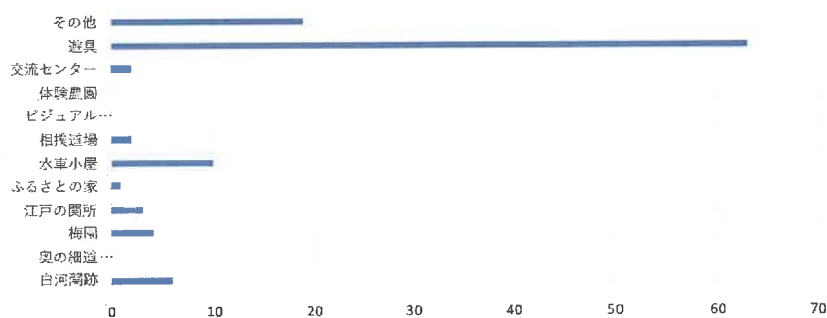
	白河関跡	奥の細道 遊歩道	梅園	江戸の関所	ふるさとの家	水車小屋	相撲道場	ビジュアル ハウス	体験農園	交流センター
好きな 場所	6	0	4	3	1	10	2	0	0	2

遊具	その他
63	19

<その他内訳>

芝生広場	水遊び場	自然	計
15	3	1	19

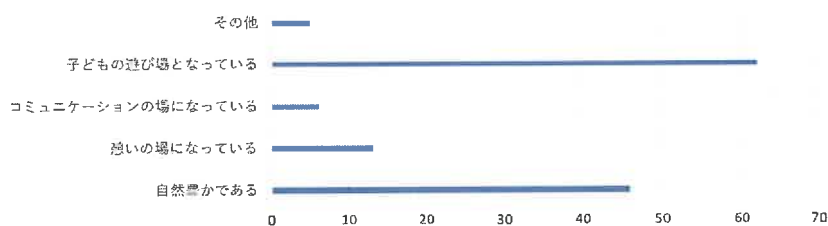
好きな場所



⑤ 満足していること

	自然豊かである	憩いの場になっている	コミュニケーションの場 になっている	子どもの遊び場となっ ている	その他
満足して いること	46	13	6	62	5

満足していること



⑥ 関の森公園での思い出

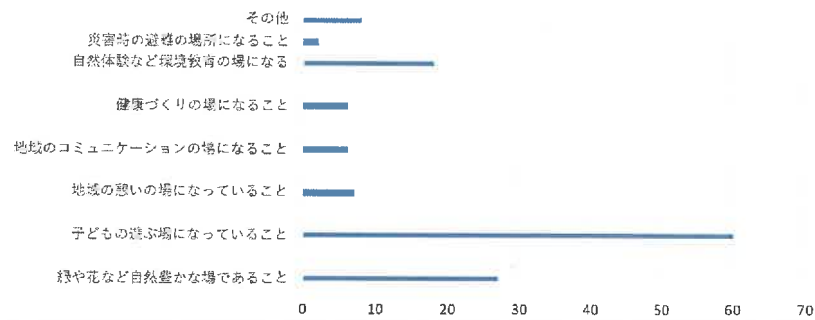
- ・子ども達が楽しく遊んでいること
- ・季節ごとに良さがあり、家族みんなで楽しんでいること
- ・家族や友人家族とピクニックをして楽しんだこと
- ・幼い頃から遊んでいて、現在は、自分の子どもと遊んでいること
- ・幼い頃に自分も遊んでいた場所だったこともあり、広くてのんびりあそべて大人もリフレッシュになる
- ・孫と子どもと一緒にコミュニケーションが取れたこと
- ・芋掘りや新蕎麦祭りなどのイベントに家族で参加して楽しんだこと
- ・幼稚園の遠足の地になっていて、色々な場所に行って楽しんだこと
- ・梅がキレイ、自然と遊具共に楽しめる
- ・虫取りができて楽しかった（未就学児）
- ・長い滑り台が大好きです（小学生）
- ・ターザンが楽しかった（小学生）
- ・相撲や遊具で遊んだこと（小学生）

⑦ 今後期待すること

	緑や花など自然豊かな場であること	子どもの遊ぶ場になっていること	地域の憩いの場になっていること	地域のコミュニケーションの場になること	健康づくりの場になること
今後期待すること	27	60	7	6	6

自然体験など環境教育の場になる	災害時の避難の場所になること	その他
18	2	8

今後期待すること



⑧ 公園に望む施設や設備

<トイレ関連>	19件
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの数を増やして欲しい ・トイレを全て様式にして欲しい ・おむつ替えや小さい子供と一緒に入れるトイレを設置して欲しい(狭い) 	
<遊具関連>	16件
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の数を増やして欲しい ・小さな子供が遊べる遊具を増やして欲しい ・ターザンの遊具の長さを伸ばして欲しい ・室内遊び場を作って欲しい ・大人も楽しめる遊具を設置して欲しい ・子どもと一緒に楽しめる遊具を作って欲しい(アスレチックなど) ・水遊び場を充実させて欲しい、プールが欲しい 	
<その他>	
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の周りにベンチが欲しい ・売店の商品をコンビニのようなものにして欲しい(軽食販売) ・園内の見どころなど案内板があると良い ・もっとイベントを増やして欲しい 	

⑨ 利用においての問題点

<p><遊具関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具が混んだ時に、遊びづらい ・雨上がりなど遊具が濡れたり、汚れている（綺麗にして欲しい） ・水はけが気になる、雨上がりは滑りやすい <p><トイレ関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの数が少ない ・トイレが狭い ・トイレが暗い（明るくして欲しい） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーや車椅子など通りづらい場所が多い（道路整備して欲しい） ・バリアフリーな設備にして欲しい ・見通しが悪く、子供が見えなくなると怖い ・遊具の広場の脇が道路になっていて事故などが心配 ・公園内に何があるのかが分からない、また、山側については、入って良いのか分からない

3、関の森公園以外でよく利用する公園及び目的

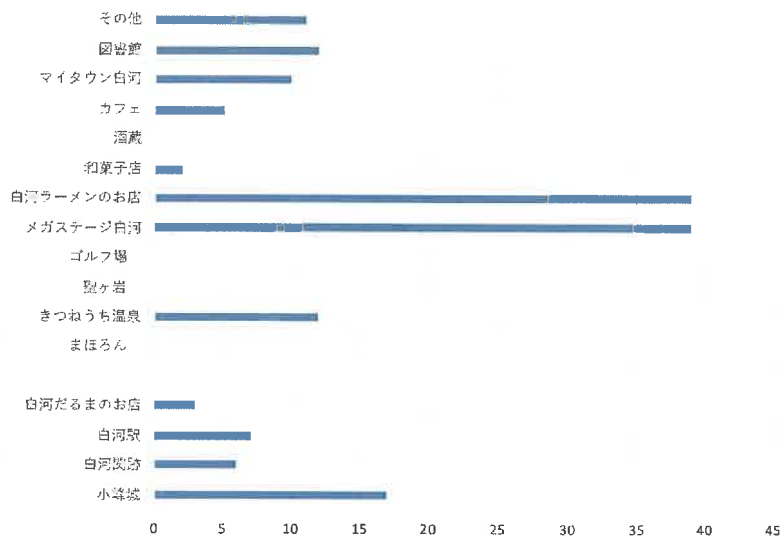
公園名	件数	主な目的
南湖公園	34	散歩・散策、子供を遊ばせる、神社に参拝、ボートに乗る
城山公園	9	子供を遊ばせる、お城を観に行く、散歩
白河総合運動公園	21	遊具で子供を遊ばせる、室内遊び場
しらすかの森スポーツ公園	3	遊具で子供を遊ばせる
高山西公園	1	子供を遊ばせる
高山北公園	0	
一里段公園	0	
友月山公園	0	
稻荷山公園	0	
向新蔵児童公園	0	
表郷総合運動公園	0	
表郷鶴子山公園	24	遊具で子供を遊ばせる
大信総合運動公園	0	
東風の台運動公園	2	子供のスポーツ観戦
その他の公園		
童里夢公園	5	遊具で子供を遊ばせる
道南西公園	8	遊具で子供を遊ばせる
鏡石公園	1	子供を遊ばせる
小栗山ふれあいの森公園	1	子供を遊ばせる

4、公園以外の市内の好きな場所やスポット

	小峰城	白河関跡	白河駅	白河だるまのお店	まほろん	きつねうち温泉	聖ヶ岩	ゴルフ場	メガステージ白河
公園以外	17	6	7	3	0	12	0	0	39

白河ラーメンのお店	和菓子店	酒蔵	カフェ	マイタウン白河	図書館	その他
39	2	0	5	10	12	11

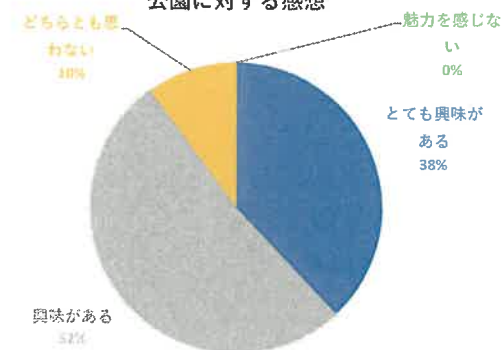
公園以外の市内の好きな場所やスポット



5、世界では、別紙のように先進的な自然と調和した教育施設や公園が作られています。感想をお聞かせください。

	とても興味がある	興味がある	どちらとも思わない	魅力を感じない	計
先進事例	30	41	8	0	79

世界の先進的な自然と調和した教育施設や公園に対する感想



資料④

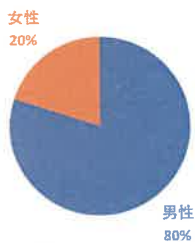
住民アンケート集計結果

1、あなたについて教えてください

<性別>

	男性	女性	計
性別	36	9	45

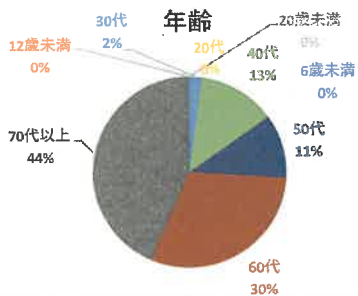
性別



<年齢>

	6歳未満	12歳未満	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
年齢	0	0	0	0	1	6	5	14	20	46

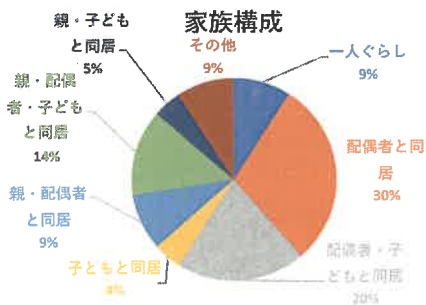
年齢



<家族構成>

	一人暮らし	配偶者と同居	配偶者・子どもと同居	子どもと同居	親・配偶者と同居	親・配偶者・子どもと同居	親・子どもと同居	その他	計
家族構成	4	13	9	2	4	6	2	4	44

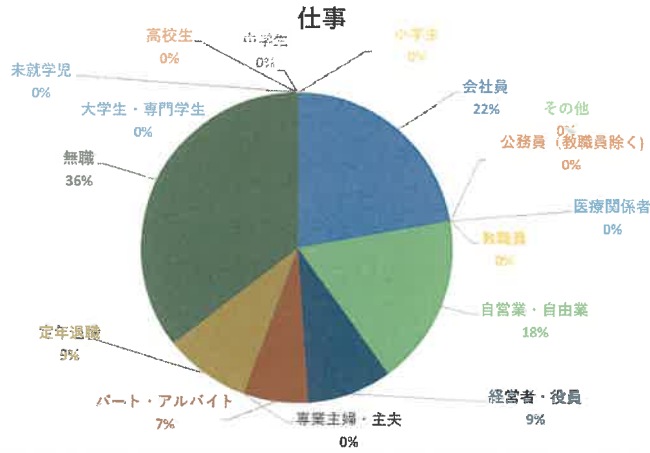
家族構成



<仕事>

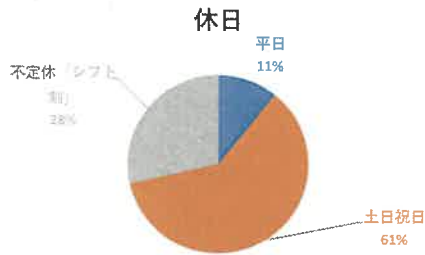
	会社員	公務員（教職員除く）	教職員	医療関係者	自営業・自由業	経営者・役員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	定年退職
仕事	10	0	0	0	8	4	3	0	4

	無職	大学生・専門学生	高校生	中学生	小学生	未就学児	その他	計
	16	0	0	0	0	0	0	45



<休日>

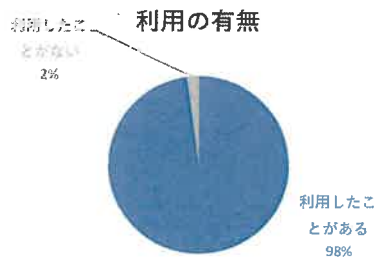
	平日	土日祝日	不定休（シフト制）	計
休日	3	17	8	28



2、関の森公園について教えてください

① 利用の有無

	利用したことがある	利用したことがない	計
利用の有無	45	1	46

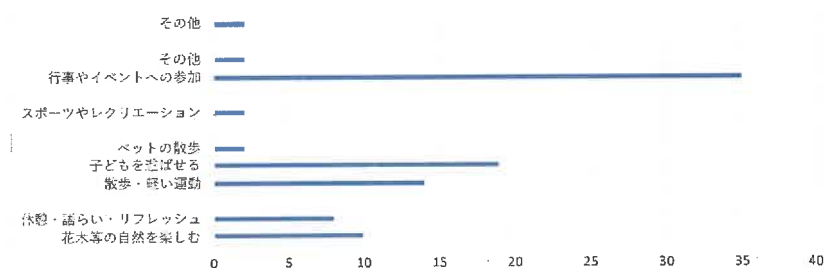


② 利用目的

	花木等の自然を楽しむ	休憩・語り・リフレッシュ	散歩・軽い運動	子どもを遊ばせる	ペットの散歩	スポーツやレクリエーション
目的	10	8	14	19	2	2

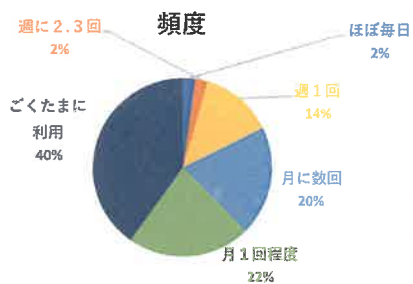
行事やイベントへの参加	その他
35	2

目的



③ 利用頻度

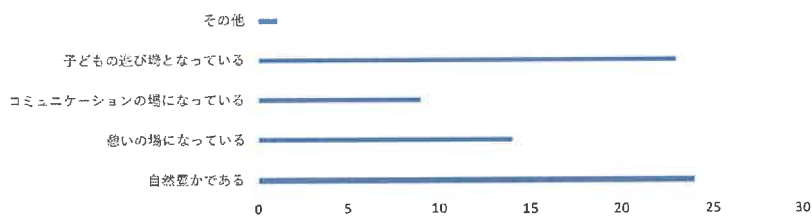
	ほぼ毎日	週に2.3回	週1回	月に数回	月1回程度	ごくたまに利用	計
頻度	1	1	6	9	10	18	45



④ 公園内で満足していること

	自然豊かである	憩いの場になっている	コミュニケーションの場になっている	子どもの遊び場となっている	その他
満足していること	24	14	9	23	1

満足していること



⑤ 関の森公園（旗宿地区）での思い出

- ・ 沢山のイベントに参加して楽しかった（新そば祭り、かたくり祭り、収穫祭り、盆踊り、餅つき、虫の鑑賞会、運動会etc） 14件
- ・ 相撲道場があった頃は活気があって楽しかった、曙や朝青龍が相撲道場へ来た 4件
- ・ 子供会でキャンプをしたこと 2件
- ・ 幼稚園・小学校・中学校の行事で来たこと、宿泊もできて楽しかった 3件
- ・ 子どもや孫と沢山遊んだこと 2件
- ・ 農業体験したこと
- ・ ビジュアルハウスで映画を見たこと
- ・ 四季折々の自然の景色を楽しんでいる
- ・ 都市と農村の交流の場になっていること
- ・ 孫たち7人、子供夫婦計15名で遊具で遊んだり山の遊歩道を散策したこと
- ・ 地元で採れた野菜の販売

⑥ リニューアル構想に伴い、関の森公園への期待や望むこと

- ・ 自然との調和関連 8件
自然豊かな花木園を中心に憩いの場になること
四季折々の自然を生かした公園整備
自然と調和した、多くの人が集まる公園
四季折々の花が咲く公園
自然のまま残したい、特に草木
- ・ 自然等体験の機会提供 7件
自然体験 3件
SDGs体験・体感できる場 3件
農業体験
- ・ 現有施設の有効利用 6件
既存施設の有効活用と改修
歴史展示棟の利活用
ビジュアルセンター内に映像、展示物を充実させて白河の歴史、関跡の姿等見せる等
加工施設及び竹加工施設の有効活用（町内会と協議の上）
- ・ 地域との連携 4件
老人会や幼稚園のタイアップ
地域農業と連携した公園づくり
地元自治会とタイアップしたイベント、行事の開催（祭り実行委員会は、自治会の委員会と別）
世代間交流の場
- ・ その他
一年を通じてエンジョイできる施設
長期持続が可能になるように簡単な維持管理、人件費・省力化etc
山道の整備
足の不自由な人でも歩きやすいバリアフリーな設備
公園に古代の関所、再現を図り、周遊コースを設定する、奥の花見山コースも歩きやすく整備して散策コースを作る
賑やかになるのは良いが、ゴミや騒音などに配慮して欲しい
子供や老人を安全に活用できる環境整備

⑦ 公園に望む施設や設備

・ <u>キャンプ場</u>	8件
キャンプやグランピング等、初心者から上級者まで活用できる設備 子供たちが土日を利用しながら、宿泊しながら、スキンスリップがとれる空間	
・ <u>エコ施設</u>	3件
グリーンセンターの熱エネルギーで健康センター 風車の設置 再生エネルギーを利用した施設	
・ <u>アスレチック場</u>	2件
・ <u>宿泊施設</u>	4件
ログハウスのような気軽に宿泊ができる施設 コテージ、グランピング施設 学生の宿泊施設	
・ <u>温泉施設</u>	2件
・ <u>販売施設</u>	4件
簡易な食べ物販売所(アイスクリーム、おでん、団子など) 2件 みちの駅のような、産直の販売所	
・ <u>飲食施設</u>	2件
おしゃれなカフェ・パンの販売	
・ <u>その他</u>	
果樹園芸の施設(りんご、ぶどう等) ドッグランの場所	

⑧ 旗宿地区(関の森公園含む)で課題に感じていること

<関の森公園>	
・ <u>道の整備</u>	公園駐車場から遊具広場に行く農道が砂利道のため小児やベビーカーが歩きづらく危険なため舗装道路にして欲しい 足の不自由な人なども歩きやすくして欲しい
・ <u>有休施設</u>	公園南側奥の体験小屋の利用度が全くない オープン時は人で賑わい設備も綺麗に保たれていたが、現在は遊休施設があり残念
・ <u>白河関跡関連</u>	白河関跡のPR 白河関跡を知らないという人がいた 白河関跡を基軸とした公園整備、それには、史跡整備計画を策定して、関連した開発をする
・ <u>その他</u>	イベント以外での利用が少ない 自治会主催の行事がなくなったのでコミュニティの意識が薄れている イベントがある際は、回覧板で回してくれればもっと参加しやすい
<旗宿地区>	
・ <u>地域づくりについて</u>	外部からの意見を積極的に取り入れる(人材も含め) 地域の人たちの意識が希薄?
・ <u>道路整備について</u>	和事地区?市道の舗装のこわれたところを、スクールバス通学路でもあるのえ早く直して欲しい
・ <u>その他</u>	自然と歴史を感じさせる地域にして欲しい 自然を守る、維持する、子供たちがもっと自然体験活動ができる場所と企画がないこと、生きるちらかを育むSDGs 少子高齢化で住民が少なること 4件 子育てが不便 2件 旗宿内に仕事がない、農業だけになってしまう 老後の不安、介護施設が欲しい

3、関の森公園以外でよく利用する公園及び目的

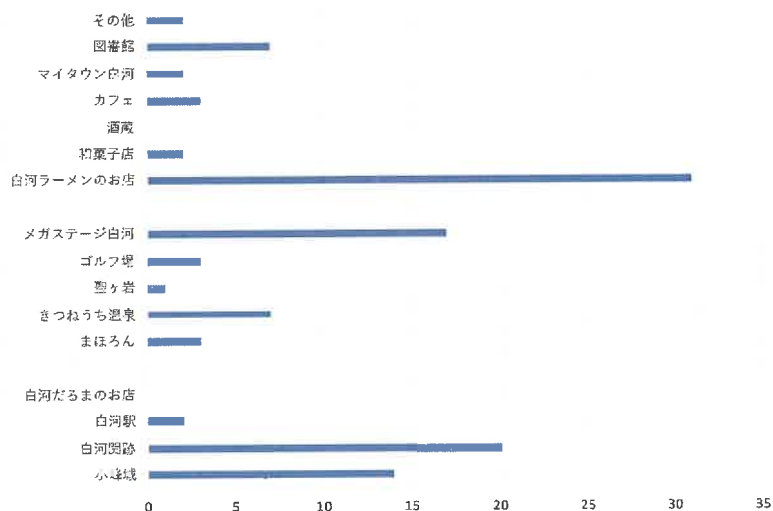
公園名	件数	主な目的
南湖公園	21	紅葉や花見、散策・食事、カフェ、景色眺望、写真撮影等
城山公園	10	散策、花見、景色眺望、写真撮影等
白河総合運動公園	7	プール、スポーツ、花火大会見物
しらかさの森 スポーツ公園	1	野球観戦
高山西公園	0	
高山北公園	0	
一里段公園	0	
友月山公園	0	
稻荷山公園	0	
向新蔵児童公園	0	
表郷総合運動公園	0	
表郷鶴子山公園	4	子供と遊ぶ
大信総合運動公園	0	
東風の台運動公園	2	キャンプ、温泉
その他の公園		

4、公園以外の市内の好きな場所やスポット

	小峰城	白河関跡	白河駅	白河だるまのお店	まほろん	きつねうち温泉	聖ヶ岩	ゴルフ場	メガステージ白河
公園以外	14	20	2	0	3	7	1	3	17

白河ラーメンのお店	和菓子店	酒蔵	カフェ	マイタウン白河	図書館	その他
31	2	0	3	2	7	2

公園以外の市内の好きな場所やスポット



5、世界では、別紙のように先進的な自然と調和した教育施設や公園が作られています。感想をお聞かせください。

	とても興味がある	興味がある	どちらとも思わない	魅力を感じない	未回答	計
先進事例	18	16	6	1	5	46

世界の先進的な自然と調和した教育施設や公園に対する感想

